戰鬪雜誌

THE SU-SU-ME
Vol. II. No. 4.

進め

第二年 第四號 四月

目次

階級意識……卷頭言
社會主義運動雜俎……田口運藏
吳海工會の發會式に出席して……覆面の密使
誰れの日本？……小牧近江
野心家の飛躍を阻止せよ……小野學
現存政治勢力と將來……青野季吉
詩 二つ……牧野一郎
無產者大會の印象……赤松克磨
農民と總選擧……神道久三
全國水平社大會記……惠須啓
日本農民組合十三年度大會……淺沼稻次郎
國際婦人デーを迎へて……櫛藤誠子
米國モンロー主義の眞相（上）……片山潜
婦人と社會運動……港はな
資源より見たる日本經濟の位置……高橋龜吉
闘はんとする青年に與ふ……福田狂二
小作運動の波及……新井友三
フランスの勞働運動……オリバー
新聞紙（創作）……小川未明
編輯室より

主幹 田口運藏

一部 十錢

進めパンフレットが出來ました

進めパンフレット第一輯が出來上りました。

青年は理智の光と情熱とに輝いて居る。先づこの青年に與ふと云ふのから出した。

内容は堺利彦氏「社會運動に投ぜんとする青年に與ふ」山川均氏「或る青年に答ふ」山川菊榮氏「社會運動に投ぜんとする若き女性へ」である。

青年は讀め。婦人も讀め。青年の心を持つ人は凡て讀め。讀んで社會運動に投ぜよ。

先づ第一輯を讀んで、階級戰へその一歩を踏出せ。

「進め」は戰闘雜誌で、吾々プロレタリアの常食だ。たが、吾々は常食だけでは物足りない。そのもの足りないのを、進めパンフレットが補ふ。

胃腸が弱くて「進め」を消化出來得ない人にはパンフレットが滋養物として健康を改復させる。

非常に壯健で、もつと理論のものが欲しい人には又パンフレットは牛鍋とし諸君に滿足を與ゐる。

進めパンフレットは斯ふ云ふ方針で今後第二輯第三輯と續々發行する。

プロレタリアートは「進め」と、進めパンフレットを讀め。

進め パンフレツト 第一輯

社會運動に投ぜんとする

青年に與ふ

一部十錢（見本贈呈せず）稅二錢

進め社

進め地方附錄

進め社は今度支局が主になつて地方附錄を發行したいと思ひます『進め』は全般的な、統一的に運動を使命とするが、地方附錄は其の地方の部分的な運動の方面を擔當する。

進め社は、この地方附錄の費用を負擔したいが目下の所それが出來ない。費用は支局で負擔して準備が整つた支局から始めて貰ひたい

尙念のため注意として

一、附錄は毎月出しても隨時出してもいゝ

一、署名人は進め署名人がすれば無保證金で出來る

一、地方附錄を出す場合は、必ず本社へ問合せて承諾を得てからする事

四月下旬發行

進め **東海附錄**

東海地方の讀者には無代進呈

名古屋市東區富澤町二丁目

進め社支局東海本部

（赤尾敏）

大阪西野田大開町

進め社

支局募集

本社は今後も左の樣な希望の下に支局を募集します希望の人は會計部宛申込んで下さい。

一、運動上に本社と步調を合せて、其の地方の運動の中心になつてくれる事。

一、數人同志が出來たら、時々座談會等を開いて、色々運動上のことの硏究もし、又本社と連絡をとること。

一、雜誌の販路を大に擴めて貰ふ事。

一、代金は成る可く速に本社會計部に送附下さる事

進め社支局（二）

八幡市彌生町一丁目 八幡支局

新潟縣新發田町 中野進

岡山縣上道郡西大寺町幸町三〇 倉本晃南

金澤市穴水町一ノ九 金澤支局

島根縣飯石郡三刀屋町 雲南本部（樋口）

廣島市河原町一三七 吉川長太郎

熊本市外出水村川前 末吉初次

和歌山縣日高郡藤田村吉田 福居源之助

愛媛縣溫泉郡拜志村 松波彥四郎

函館市本雲町一八七 武内清

朝鮮慶尙南道馬山府壽町六七 金享潤

朝鮮咸鏡新上驛前 北鮮支局 金瀅

北海道空知郡歌志内町下ノ澤 下ノ澤支 明田市之助

金澤市鱗町三四 安村庸三

朝鮮大邱府西城町一丁目五十二 金利龍

朝鮮慶南信水驛前 姜大洪

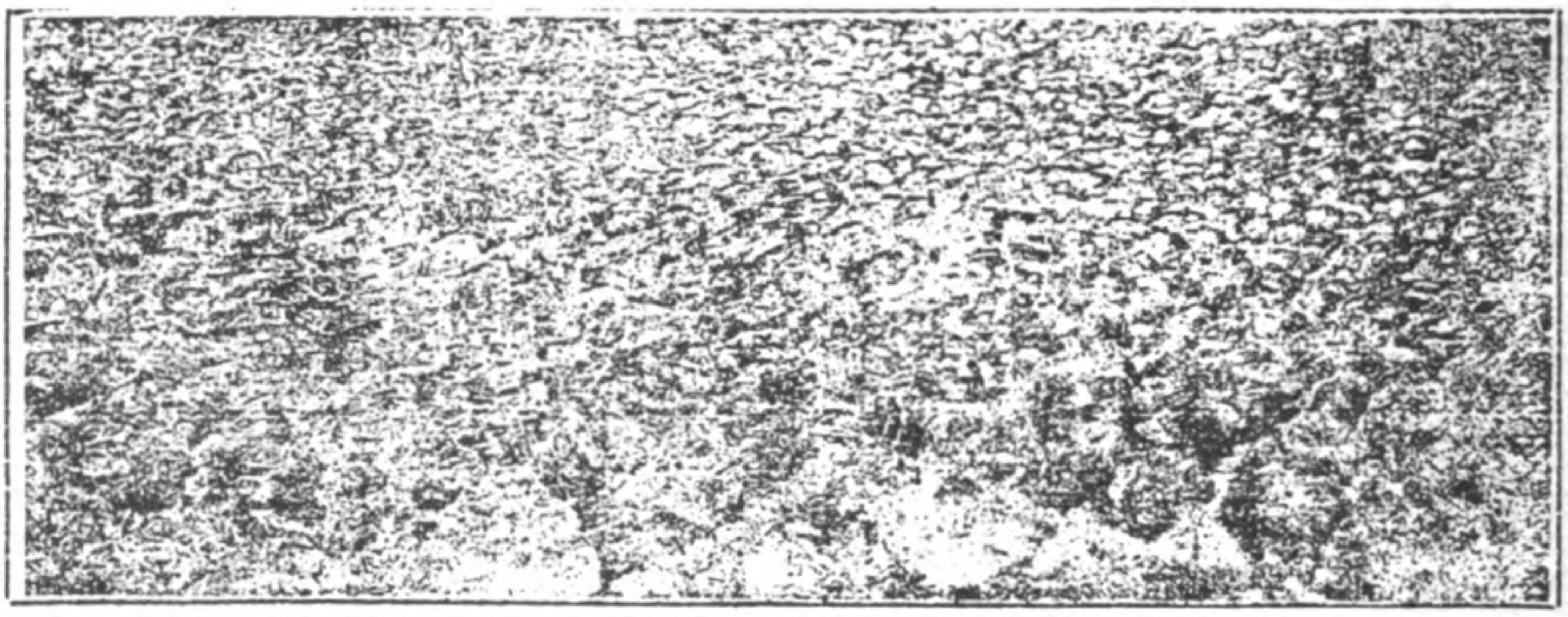
鳥取縣米子町中町七七 服部芳象

東京市外雜司谷水久保一三三一 石川準十郎（同人）

● 萬國の勞働者團結せよ ●

戰鬪雜誌 進め

第二年第四號
大正十三年四月



階級意識

▼階級意識と云ふ語は、現代社會主義に、最も多く用ひらるゝ言葉の一つである。個人的の立場を離れ、職業的利害にのみとらはれずして、己れが屬する階級の利益を第一義とする自覺を謂ふのである。

▼現代の資本主義制度に於いては、大別して、支配階級(ブルジュアー)のそれと、被支配階級(プロレタリアー)の階級意識とが、常に相對峙してゐる。それの具體的表れが階級爭闘である。この爭闘は、資本主義經濟制度の發達の行程に伴ふて必然的に激烈を加へる。

▼意識なき群衆は、常に烏合の集である。プロレタリアートが、その階級的自覺に醒めて、自衛のため、爭闘のために備へる必要に迫り、初て、こゝに勞働組合の組織となり、プロレタリアートの政黨の樹立となつて表れるのである。

▼マルクスは『由來過去の歴史は、總て爭闘の歴史である』と看破してあつた通り、階級の存在する處、そこには、爭闘がある。爲政者と被支配者、掠取者と奴隷、地主と農民これ等の二つの者の利害感情は常に爭闘となつて表れてあつた。然しながら、階級的の意識のなき反逆は、一時的の暴騷に終る。現代の爭闘は、階級的に醒めたる解放運動であるそして階級的の組織を必要の前提とする點に於て、昔のそれと趣きを異にしてゐる。

▼社會主義者は、階級爭闘を把持して、プロレタリアートの解放を絶叫する。されば、その大衆の前衛たる組織を必要とするものである。組織なき爭闘は、何等の効果を期しがたいからである。

▼爭闘に依る解放を主張する吾等は、吾等の最終の任務が、階級爭闘の基て來る根源を取り去ることにあるをよく知つてゐる。そして階級爭闘の最も正則なる表れは、政治運動に於いてゞある。政黨なき政治運動は、組織なき反逆に終る。

▼吾等は、組合運動の普及に努めると、同時に、プロレタリアートの政黨樹立を主張する。吾等は、マルキシストの立場から、解放運動の前衛として、階級意識の強き組織へと急ぐのである。(田口運藏)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會主義運動の雜俎

田口運藏

（一）

▼三月八日はプロレタリアートの國際婦人デーとして、勞働運動及び社會主義運動のある國々では、プロレタリアの婦人團は大いにその氣勢を揚ぐべき、一つの紀念日となつてゐる筈である。日本のプロレタリア解放運動に於ても、確か昨年は相當に（或は形式ばかりでも）その勢揃をして、各自の希望を絶叫しそして、何等かの方法で、その宣傳を決行したと云ふことを聞いてゐた。然るに今年はどうであつたろう。いかに關東震災のため、婦人運動に動搖を來したとは云へ、今年の三月八日はあまりに淋しかつた。只一婦人山の内みな子君が、進め社主催の勞働問題演說會で、國際婦人デーの題目のもとに氣焰を揚げ以外に、何等の催しがあつたことを聞かないのである。ではあるがさすが解放されたプロレタリアの婦人は、雄しいものである外事書報の報ずる處にして誤りがないならば、ロシア勞農共和國の勞働婦人は、三月八日に列强の資本主義に對して大示威運動を行ふたのみでなく、處々に大演說會を開き、次の如き內容の決議を通過したのである『妾々解放された女性のプロレタリアートは、ロシア、ソビキト共和國內のパシキイル、カルム、トルキスタン、オイラツトの四共和國に於て、尙は、行はれてゐる所の掠奪強制結婚、重婚、或は蓄妾を、勞農共和國の立法を以て防止しなければならないその意味に於て、これを行へる男性に對して、刑罰を設定すべきである』又、ロシアの婦人達は、全露の婦人在監者に對しては、特赦減刑を行ふ事としたのである。支配權を握つた後でのこの樣な社會政策は確かに意義のある事である。吾等は望む、つと日本のプロレタリアートの婦人も、解放運動の第一線に立たんことを。

▼私等は、總ての運動に於て、婦人が大部分を占むに到らないでは、未だ、その成功の驛までは遠いことを知つてゐる。このここに關しては私は、思ひ浮ぶことがある。六七年前私は、德富蘆花氏にニューヨーク市で會ふて、エジプトに於ける革命運動（獨立運動と云ふのが適當であろう）のことに就いてたづねたことがある。蘆花氏は『……エジプトの運動は、私の見る處では、もう大成功である。なぜならば、婦女子が、その示威運動者の大部分を占めてあつた十年前に私が、同じエジプトのカイロ市に於ける、獨立運動の示威行列を見た時は、男子のみで、婦人の參加者は、ほとんど稀れであつた』と答へた。この話が、語られて以後六ヶ月を經過しない內に、エジプトに獨立自治政府が樹立されたのである勿論、蘆花氏の如き、神秘的の文士の言葉を全部、吾等の信ずることではない。でも、以上の物語りに於ては、確かにある事實の半面の言表されてあると思ふ。日本の階級爭鬪於ても婦人がその第一線の指導を握る時に於てのみ、吾等は勝利を得るのではなかろうか。

（二）

▼四月十一日、この日は吾等の指導者であり、最も偉大の同志であつたレニン氏の誕生日である。彼れレニン氏の偉大であつたと云ふ事は、少しでも世界の大勢を知る者の等しく肯定する處ではあるが、吾等の見る處では、彼の偉大さは、マルキシズムの造詣が深く、且つ擴大し徹底してゐるからと云ふのではなくて　マルキシズムの運用の巧妙と、その適用が決して、あやまらなかつたことである。彼の言葉は常に、的中した豫言であつた。そして、それが、ロシアの社會革命の進むべき經路に於て、特に、そうであつた。レニン氏の著書『革命と國家』に於て、論述してある通りに　ロシアのボルシキヴエキ革命が進んだこと、及びブレスト、リトブスクに於ての獨露條約締結の當時に於ける彼の言葉が、いかに的中せるかゞ、その雄辯な證明である。

▼私が片山潜及び他の一人の日本人と共に、最後に彼れレニン氏とクレムリン宮殿に於て、會見することが出來たのは、一九二二年の一月二十一日であつたと思ふ。別れて歸る時に、レニンが片山潜氏の手をしうかと握つて『極東の問題の解決は、君の指導に待つ處が多い』と言ふた。片山氏は、レニンのこの言葉に對して、あなたは、何時頃に再クレムリンに歸つて、事務を取れますかとたづねた。それは吾等（三人は）は、レニンか明日、ゴルキー靜療院に赴くことを知つてゐたからである。直に、レニンは『そうです、すぐ歸ることが出來るでせう。どんなことがあつても、六週間の後で諸君と、この事務室で、會ふことが出來るでせう』と鄭重の別れの言葉を吾等の後姿にあびせかけたのである。

そのレニン氏が、全く二年後の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

九二四年一月二十一日に、ゴルキー靜養院で死んだ。丁度二年後の同月同日である。然しレニンが逝つても、もうロシアの勞農政府は、グラともしない。そして、ロシア共産黨は、より以上の結束で進んで行くであろう。

（三）

▼レニン氏の後釜へルイコフ氏が座つた。日本の同志でも、彼ルイコフの名を知らない者が多いようだ。ルイコフ氏は、一九一七年の十一月以來、レニン氏の秘書官として、ロシア勞農共和國の建設に全力をそゝいで來た一人である。このルイコフ氏は、今年四十三歳の働き盛りの同志である。彼は、生地をレニン氏と同じ、ボルガ地方で、而も同じガザン大學で、一八歳の少年時代から、社會主義運動に關係あると云ふ名のもとに、放校された學生であつた。彼は過厚の事務的の革命家で、そして、經濟學の造詣の深い人として、ロシアのプロレタリアートから尊敬されてゐたのである。彼が、今後は人民委員長として必ずや、ロシアの革命の完成を最も美しく決行することであろうと、吾等は思ふのである。斷く希望するのである。

（四）

▼この頃は、日本の政界も、總選擧前と云ふので、なかなか活氣附いてゐるようだが吾等の様に政權に、參與することの出來ない、プロレタリアートはさほどに影響を呈する場合ではない。政治ゴロや、ブルジョアの走狗は、書き入れ時とばかり、護憲運動とか云ふ美しい名で、鳴り物入りで、特權內閣を打破せよ!!特權階級を倒せ!!などゝ騷ぎ立てゝゐる、でも日本のプロレタリアートは、もうそんな職業的狸共の僞欺的運動には、だまされる程幼稚ではなくなつてゐる。ではあらうが、吾等階級爭鬪説を把持して、プロレタリアの解放を主張する社會主義者は普選の實施を待つでなく、その政治的運動を決行すべき時機に到達してゐることを認めてゐる吾等は上から與へらるゝことを豫期してはならない。下から要求して、これを貫徹すべきである。政治運動も、政黨がなくては、單なる烏合の騷擾となりやすい。だから、吾等は、こゝに大なる範圍のプロレタリアートの政黨の樹立を決行するために努力すべきではないかと思ふ。そして、これが吾等の當面の問題の最も緊要なるものであろう特に、反動的氣運の盛んなる時代に於ける、社會主義運動の公然と採るべき途は、他にないのである。

▼吾等の同志達のある團體がこの氣を見て『政治運動』と云ふ機關紙を創刊することになつたが、吾等は大いに嬉しく思ふのである。そしてその政治運動が文字ばかりでなくて具體案を、ひつさげて、プロレタリアの政黨の創立に取りかゝらんことを吾等は切に希望するのである。それで初めて、政治ゴロの蔑才を、吾等解放運動から脱することが出來るのである。

▼世界的に押しよせて來た、反動の波も、そろそろ引潮になつて來た。流石のイタリアのファスシト運動も、內部から破裂し初めて來た。亦、英國のプロレタリアートは、理詰の戰法で、相當の勝利を、かち得て、勞働黨の內閣を樹立した。資本主義の最後の要塞と呼ばるゝ、アメリカでさい、勞働階級の總てが所謂『政治的中立』と云ふ、保守的傳統を抛げ棄てゝ一歩、眞の階級的爭鬪に入つて來た。潮の流れが、再び前進する徴候が充分に表れ來る時に於いて、吾等日本のプロレタリアートの前衛隊も大いに決意すべきではないか。

▼然るに、日本の社會主義者の內に於いて、分派的の態度を敢て採りつゝ、私情のために離合し、吾等の共同戰線を破りつゝあるを見るのは、吾等の最もかなしむ所である。日本では、個人關係を運動そのものより重大視してゐる少數の社會主義もないことはない。吾等は『妥協』は常に同志の內にのみなさると云ふ標語で進軍したいものである。そして少くとも、吾等はその爲めに努力するであらう。

（五）

▼この三月に於いて開催せられた二つの意義ある大會に、吾等が、傍聽者として、列席することが出來た。それは全國農民組合の大會と、水平社のそれであつた。二つながら、たゞの三年目の大會であるが、いかに、これ等の運動が、猛然として燎原の火の如く突進してゐるかを明かに物語る丈けの盛大さであつた。でも、吾等の立場からして未だ滿足の出來ない點もなかつた譯ではない。それは、二つの運動の主動潮流が、愛國的傾向を、いかんなく示した點が、その最もなものであつた。農民大會が四月某日を日本の農民デーと定めたなどは、おかしい點の一つであつた。それから水平社運動でも青年聯盟から提出された國際的の提案が大多數で葬られたのはいかにも殘念であつた。でもともかくに勞農ロシア政府の即時承認する案が通過したのは、嬉しかつた。一般的に言ふなら水平運動の指導者達は民族運動でも獨立運動でも階級的存立を取り去る解放運動にして初めて完全に成功することを見のがしてゐる樣である。然しながら社會的に壓迫をひどく受けてゐる彼の水平運動が愛國的の假面をかぶつて當面の問題の解決から突進し、他日彼等の地盤の強固に確立した上で堂々その階級打破を絶叫することは、或は當を得た戰術であるかもしれない。（廿四、八、稿）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

誰の日本？

小牧近江

「ロシア懲らしめの會」のこらしめの會

上杉愼吉博士を座長に、いはく頭山翁、内田良平、米村嘉一郎、いはく何某、かに某の國士僞士が相寄つて、ロシア懲しめの會なるものをつくつた。そして、傳へ聞くところによると、この廿日頃、東京に於て創立を兼ね盛大な國民大會を開くそうである。尚ほ同會は單にミカドクラドに於てばかりでなく、津々浦々にまで、或はビラ、活動寫眞を具して遊說の途にのぼるともいふ。時恰も徵兵檢查の季節であり、陸軍の反露宣傳と相まつて、頗る非常の効果を得ることであらう。が、また、これと同時に思ひかけない反感を抱かれることも今から想像される。『ロシア懲しめの會』のいふところによれば、ロシアは日本領事館を無視し、國際信義に戻るものであるから、日本は須らく出兵して、その暴戻無禮なるロシアを懲罰すべきであると力むのである。

さて、そういふ日本はどうであるかといへば、一領事館どころか、已にイギリスもイタリアもまた近く支那もが結局承認するだらうところのロシアの存在すらも無視してゐるではないか。國際信義などといつてよくも圖々しく、莫大な經費をかけて、北樺太を占領してゐるものだ。『ロシア懲しめの會』の宣傳費が何處から出てるか、常識でも判斷されることだが、出兵などと塲所がら嫌はず大きな聲をされては、差あたり、霞ケ關が大困りだらう。支那のロシア承認だけは、アメリカやフランスと共謀になつて——日本許りでは出來る藝當でないので——先づ胡維均に警告を發しさせ、それから王正廷を押へつけた形だが、嘘でもほんとうでもこの際出兵などと與太られては、あまりに薬が利きすぎて、外電の手前外務省はまた一苦勞だらう。

それにしても『ロシア懲しめの會』などどうせろくな反響もないことだらうが、外債問題この方三等國にまで、成り下つた日本國民は、この上出兵などといふ叫びを聞いて笑つて濟まされやうか。小に見積つても一億數千萬と二千數百の生靈を犬死にさせたシベリア出兵も、例へ空元氣にもせよ、再びそれを繰返せなどといふあまりに國民を馬鹿にした言葉を默つて聞かねばならぬ震災市民も市民だが、國民も國民である。だから、松方公なんてな元老が、死にきれぬのかも知れない。元老の日本でないこともその通り、貴族階級の日本でないこともその通りであるならば、軍閥とその手先である國士僞士の日本でもないことも當然であるべき筈だ。そういふところから割出せば『ロシア懲しめの會』のその又懲しめ會こそ眞に國士の一肌抜かねばならぬ態しである筈だ。

猶太禍

ロシアを攻撃するに方法がなくなつた。何しろ赤露の共産黨政府が樹立してから六年有半、そのロシアを何んとくさして見ても依然として動かぬ。そしてシベリアの出兵軍は泣面して浦鹽の赤旗に身送られねばならぬ運命にまでたちいたつたのだから。

そこで、當の責任者たる日本の陸軍は、幸ひ無頓着な國民からは大してやり込められずに濟みは濟んだが、内心どうにしかしロシアに鬱憤を晴らさずには武士の體面が保たれなくなつたそうして、間接にロシア攻撃を策めたのが、いはゆる猶太禍である。いはく『猶太禍』いはく『猶太人の世界征略運動』いはく何に、いはくかにと名づけられる本が續出する。これより先き、ハルビンに『極東』といふ月刊があつて、盛に猶太禍の宣傳をした。次ぎに東亞社の限南市内藤順太郎氏や元代議士の菊池武德氏等が、或は主幹、或は相談役になつて、對露問題談話會、又は猶太民族問題講演會等を催し、あらゆる機會に於て猶太禍なるものと、いはゆる過激思想なるものを殊更に、まことしやかにごつたにして、如何にも日本帝國を亡ぼすために猶太人は『悪辣なる方法を講じ非常に巧妙なる計畫を廻らして』でもゐるやうにいつてゐる。少し古い話だが、僕は昨年三月十九日東京會館で催された東亞社主催の猶太民族問題講演會席上で話された國教宣布團の酒井勝軍氏なる人の『ユダヤ人の世界征略と日本の運命』なる講演の一節を紹介する。

『猶太の世界征略と日本の運命と云ふ事に就て私の信じます、基督教の聖書の豫言に依りますれば、遠からぬ未來に於て日本はペルシャ方面に出動することなりますので、此事については、時の教育總監であられましたる今日も此處にお出の一戸閣下にもお話申上げましたが、間もなく陸軍から命令がありまして、西伯利亞方面に行くことになりました云々』

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

からした人間が＝陸軍の命令に一で、國民の膏血から得た機密費をもつてあることないことを報告し、やれ猶太人と日本共産黨の陰謀やれ何んのかんのと書きたてるから恐れ入る。

そこで、昨年から今年にかけて猶太禍に關する一山五錢の書籍が續出するので、それによつて今にも日本神國が猶太人に亡ぼされるやうに考へる氣の弱い人間もあるやうである。

しからば、世界にはびこるところ猶太人の總人口はどれだけだといふと、一千三百五十萬世界の人口の百廿分の一にしか相當してゐない許りでなく、我が神國？には一人のユダヤ臣民もゐないといふのである。しかるに、その日本が、この頃どうかどう而喰つたものか、世界からは未だに黄色禍視され、アメリカからは人間扱ひもされないそのくせに、架空の猶太禍を想像してやたらに世論を沸騰させることは、國策上どういふものかと、僕等は思ふ。そして、政府がかゝる輕擧を默認しておくことは果して、政府の意志であるためかどうかも知りたいものである。

何がさて『大原社會問題研究所雜誌』第一卷第一號に於て、細川嘉六氏がカール・マルクスの『猶太人問題』の一節を紹介してゐるが、その一節に、

『資本家的社會は、彼自身の胎内から絶わず猶太人を産んでゐる』

といつてゐるが、われ〱が、陸軍の宣傳による猶太禍の架空說にやたらに注射される前に、日本の資本社會それ自身の胎内から絶わず産む日本の猶太人のことについて、もう少し考へて見ていゝと思ふ。

シンガポールの海軍根據地問題についていひたい分もあるが、締切があまり切迫してゐるためこゝで一先づ筆を擱く。

（三、一九）

支局通信

岐阜下麻生佐伯生

今度岐阜縣加茂郡東部製瓦職工組合を、組織し十月十五日を以て發會式をあげました。

其後資本家側が、大變に其の組合を危險視、資本家側が共同戰線を、張り、組合を破壞せんと、作戰を講じ、その裏面には官憲が活動してゐる。

吾々は工場主と戰ひ、警官と戰ひ乍ら運動をしてゐる。

青年運動、當地の青年運動は每月二回づゝ五分間演說會を催する事に決定して、三月十五日を以て、第一回青年講話大會を開きました。

佐伯が社會主義とは何んぞやと云ふ題目にて講話した水野君が唯物史觀の御話をし某君が無産青年の地位と云ふことで演說があり、其れより、メーデー歌を合唱して解散した。

前記の如く吾々の運動と宣傳の上に大好機會が作られた、ことを同志と共に喜ぶ。

進め三月號評

神戶無産青年團X生

益々『進め社』の精力が若しくは勢力が增大する『進め』三月號を見て、感激した、そこで評を加へて見る、

第一北原氏の時よりも堅くなつた感がある。それは田口氏の外國社會運動の記事が載せてあるからでもあるが、それにしても外國の社會運動評また記事は嬉しいことには違ひない。僕達は進んで外國社會運動を研究若しは知悉したく思つて居る矢先だ有難いことは此の上もないが併も『進め』は、全々社會主義を知らない者に取つては、惡くなつた樣である。そのことは三月號誌上で拜見したからそれでよいことにして。

『進め』パンフレットには必ず『進め』『姉妹誌』と云ふやうに、初等社會主義解說てな物にしそれから『進め』を讀み得る樣にしては如何？と思ふ。

編輯振りは、北原龍雄氏よりも上手と云ひ得る位であるが。六ヽヽシャ二ヽヽブル雜誌の如く形式振り若しくは官僚振らない樣に御氣を附けられん事をお願ひます第一名稱か『進め』‖ですから秩序整然第一は宜しう御座いますがよそ行き風になること、親しみにくゝなるのです。

兎も角『進め』は誌上御言葉通り僕達の糧食である。『進め』が無かつたら死んで居たか判らないような氣持がする。日々『進め』の表紙だけでも眺めてゐれば慰められる。全く『常食』とはよく言はれた。

俺達には全くパンよりも貴いそはパンを食ふ方法を敎へてくれるからだ。現在資本家の餘り物を戴いて、滿足に食つてゐない奴を食ふ樣に敎へて下さるからだ。則ち資本家の『飯』よりも餘程美味であり滋養であり腹造らへが、出來るのは進めなのだ。官憲奴ベラボーメ俺達の『飯』を取られてたまるかい、死んでも俺等は『進め』はハナシコツはないんだ。

國際主義——運藏氏の劈頭言實に我が意を得たり。然して運藏氏の言たるや、眞向から『國際主義』なり何ぞや『日本島』——若し余はむしろこの日本なロシアの同志に捧げんと思ふや切なり——日本島よ。

此後は少し、若しくば大いに國際主義的編輯あらんことを切望す。終りに進め社同人諸氏の健鬪を祈る。

現存政治勢力と將來

青野季吉

一

現在の日本の政治的勢力は、誰でも知つてゐる通り、軍閥、政黨、官僚である。大財政家、大實業家も、たゞならぬ力を政治上に働かすに相違ないが、その力はそれぞれ軍閥、政黨、官僚に反映してゐるので、政治的勢力として表面上に結集せるものとしては、右三者を以て代表させて差支ない。

先づ軍閥を見ると、日本の政治的權力は長い間軍閥の手に在つた。これは日本の資本主義が自由競爭の階段を踏まないで、初發から獨占的、侵略的な色彩を帶びてゐた結果であつた。云ひ換ると初發から帝國主義的な色彩を具へて發生して來た結果で、少しも不可思議とするに足らない。軍閥が横恣を極めたとか、軍閥が政權を左右してゐるとか云つた非難ともつかず愚痴ともつかない言葉が、長い間政黨とその新聞紙から發射されたが、それも決して軍閥の「惡意」から出たわけではない。當然そうなる可き經濟的根據があつたのである。日本の資本主義はその時代、軍國主義と相俟つてゞ無ければ、その進路を打開することは出來なかつたのである軍閥が政治的權力を掌握するのは止むを得ない次第であつた。

しかし軍閥の政治的主權が、日露戰爭後から次第に凋落して西比利出兵の頃になると全く地に落た觀があつた。勿論政治的勢力としては、容易に拔く可からざる根抵は具へてゐるが、もはやその主動的地位は失はれたかの觀があつた。それが山縣有朋と云ふ個人的勢力の消滅と共に、いよいよその運命を確實にしたことは、爭はれない事實である。過般の東京及その附近の大震災に、軍閥は非常な努力を拂つて民衆の信認を取戻さうとしたがそんな事で積年の頽勢が挽回されるものでない。特に社會的現實にうとい所から、反つて社會の反感を誘發するが如き事態を生ぜしめたこと、二三に止まらない。とにかく軍閥は今日政治勢力としては、その主動的地位を年下の政黨に讓らなければならなくなつた。そしてそれから來る自然の結果としては政黨と妥協乃至それに從屬することによつて、始めて政治的勢力たり得る如き、なさけないものとなつた。

軍閥がかくも政治的勢力を失墜した所以は何であらうか、山縣有朋と云ふ如き個人勢力を失つたのもその一因であらう。軍備と云ふ如き半國際的强制に基く反動現象のあつたこともその大いなる一因であらう。然しそれは最後の仕上げたるに止まつて、軍閥今日の頽勢を導いたものは、日本の國家經濟にとつて軍閥は最早役に立たなくなつたが爲めである。日本の資本主義か軍閥の擁護の下に進行する時代が去つたからである。モウ一層正確に云へば日本の資本主義は、軍閥の力を用ひて爲す可きことが無くなつたが爲めである軍閥が日清、日露當時と打つて變つて、今日何等の積極的な「國策」を示さず、軍閥のやること、軍閥の意見と云へば或は危險とされ、或は迷惑とされるに至つたのは、日本の資本主義と軍閥との距離を示して餘りあるものである。

二

さう云ふわけで軍閥は政治的首位を失ひ影が薄くなつたとは言へその政治的勢力はまだ容易に消滅するものでない。いろんな機會に、他の勢力を結び付けてその生命を維持することは勿論である。過般の加藤内閣にしても、それは軍閥勢力の復活とか、軍閥内閣とか云はれるもので無く、一種の官僚内閣であつて、軍閥の一部が官僚的勢力と結び付いた現象である。この種の現象は今後共繼續するものと見なければならない。更に軍閥の内部に、一種の「愛國主義」精神から所謂「正義」に目醒めた新分子が次第に發生しつゝあることは、今後に於いて大いに注目しなければならぬ事實である。彼等は或時期に於いては、「國民の危きを救ふ」との意識の下に「民衆」軍隊たるの抱負を示さないとも限らない。そして後で說くであらう、他の分子と結び付いて大いなる役目を演ずることが無いとも限らないと思ふ。

次に政黨である。政黨は今日政治的に首位を占めてゐると云つてよい。いかなる政府も政黨の支持無しには成立しないが、政黨は今日他の分子の支持を受けないでも政權を執つて、或期間維持することが出來る。軍閥の政治的首位に執つて代つたものは政黨である。しかしそれかと言つて政黨政治であるかと云ふにそうでない。一大政黨對立時代は日本に於いては遂に來なかつた。たゞ政黨が軍閥に代つて政治的首位の勢力を次第に獲得したと云ふに過ぎない。これか原因は日本の資本主義が最早軍閥直接の擁護の下に立つ必要がなくなり、政黨を通じて、乃至は政黨を左右して、その政策によつて立つて行くことが出來

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

るやうになつたからである。日本の資本主義が軍閥の直接掩護の下に發育した時代、政黨も亦軍閥と抱合乃至それに從屬して發育して行つた。しかし日本の資本主義と軍閥との距離が遠ざかるに從つて、政黨と軍閥との距離は遠ざかつて行つた。そして一方それに反比例して、資本主義と政黨との距離は近くなつて行つたのである、政黨が政治的首位へと梯子上りに登つて行つたのはまた自然である。大隈とか原とか云ふ個人の意識的努力は、軍閥の勢力に反抗して、資本家と抱合することになつたので、彼等が何かと云ふと「憲政」とか「平民」とか「平和」とか云つたのは、その意圖からである。

政黨は今日政治的首位を獲得したが、しかしこれまでの政黨は、階級的地盤の上に確實に眼を下したものではなかつた。その一事は今日まで普通選擧が敷かれてゐない事實を見ても分る。政黨が眞に階級的地盤の上に立つて、根抵ある政治的勢力たるが爲めには、普通選擧（ある程度の制限はあるにしても）は無くてはならぬものである。それによつて各政黨が夫々或階級乃至社會層を代表して初めてその階級の存在と生命を一にしたところの、拔く可からざる政治的勢力たるに到るのである。然るに日本の政黨は資本閥の勢力對抗を基礎とした政黨、財政上の積極消極のリズムに根抵を置いた政黨であつた。それも資本主義が順當な發展してゐる時期に於ては、ある種の恒久的な基礎であつたのであるが、日本の資本主義が次第に行詰つて、動きの取れぬ破綻を内に藏するに到ると、それだけを基礎とする政黨は隨つて動搖せざるを得ないのである。軍閥に取つて代つた政黨は、資本主義の支持の上に立つて、その業を果したのであるが、一度び政黨が政治的首位につくや、一方日本の資本主義は、その内部に於て行詰りの狀態となり、政黨は宇宙は迷はざるを得なくなつた。而して資本主義の苦悶が政黨の苦悶となつて現はれて來るのは理の當然である。

三

今日の政黨は眞に「政治」のための政黨ではない。黨員の個人的利益のための政黨である。ところで政黨が、資本閥と抱合し乃至その支持を受けて、黨員の個人的利益を圖り得る間は、政黨は生長し、隨つて政治的勢力として動かぬ單位を形成することが出來る。しかし資本主義の行詰りから來た資本閥の苦悶の結果として政黨がそれから積極的の支持を得ることが出來ず、隨つて黨員の個人的利益を圖ることが出來なくなれば、政黨は分裂せざるを得ない。今日は誰も知る通り政黨の分裂時代である。それは決して個人的勢力の潮流のみが原因ではない。政友會が二つに割れたのは、政友會を支持した資本閥の行詰りの結果として黨員は最早政友會から何物も期待出來なくなつたが爲めである。よし原敬が今日まで命があつたにしても、政友會の分裂は、多少の時期の遲れることはあつたとしても、蓋し止むを得ないことであつたと云はれてゐる。

「政黨無力」と云ふ言葉は、貴族階級の側からも、庶民階級の中からも一樣に叫ばれてゐる而して今や資本閥の中からも「政黨無力」乃至「政黨有害」の聲が聞かれてゐる。政黨がかくも不評判を招いたのは、今日までの政黨が資本閥の對抗勢力の上に基礎をおいてゐた結果に外ならぬ。資本主義が順當に進んで、政黨がその積極的反映たる間は、政黨は決して無力でも有害でも無かつたのである。資本主義が何等かの方途の打開を必要とする瀬戸際に到つて、政黨が無力となり有害となつたのである。かう云ふ事情の變化から、政黨は今や、資本家閥の對抗的基礎から離れて、一本立ちとならなければならなくなつた。そこで當然の結果は、大政黨の分裂、小黨分立の時代の出現である。この現象は政黨の本質的改造の止むなき時期の到來を示してゐるところの、興味ある現象である。

そこで來る可き總選擧の結果も、依然として小黨分立になることは、今日から豫想するに難くない。しかもその小黨は或は護憲の名によつて協同しやうとし、或は貴族階級の一部と結ぶにしても、最早や今日の政黨が積極的な形勢の打開を果す能力のないことは火を睹るよりも明かである。それは一度び普選が敷かれて、政黨の或程度の本質的改造が行はれるまでは不可能である。さう云ふ具合にして今日の政黨の命數はいくばくも無いのである。それはちやうど今日の資本閥の基礎が累卵の危きにあると同樣である。

ところで政黨に於いてもまた一の新分子がある。彼等は急進自由主義とも云ふ可き一團である。彼等は今日の政黨が最早や無力にして、今日の資本閥支配が、國家を荒廢に導くより外ない事實を明かに認識してゐる。彼等は政治的局面の轉回と云ふよりも、更に進んで、今日の資本閥支配に最後の止めを刺して以て政治的局面の急激な大轉回を來たさなければ「國は立つて行かぬ」と考へてゐる。この急進自由主義者は、今日の封建的政治主義を仆して、眞のブルジョア政治主義を樹立しやうとするものである。卽ち彼等の意圖は第二維新である。この分子は今後次第に生長し、先に說いた軍閥の新分子と結び、更に次に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

說くところの、官僚の一部と抱合して、今後政治的に大いなる役目を演ずるであらう。

四

官僚の政治的勢力は常に從屬的である軍閥が政治的に首位にある間は官僚は軍閥の政治的參謀であつた。その意味に於いて官僚の政治的主張は軍閥を通じて現はれた。政黨が軍閥に代つて首位に就いた時は、事實官僚の一部は三々伍々政黨に走り、全體としての官僚は政黨の政治的技師となつて、政黨を通じてその政治的主張を表現した。そのいづれにしても官僚は水として拔く可からざる強味を持つてゐる。或る場合には軍閥を制肘し政黨を左右した。而してまた官僚は資本閥に深く喰ひ入つてゐた。この意味に於いて軍閥政治から政黨政治への移動はあつたにしても、一様に官僚政治の色彩が、日本の政治的色彩に於いて、拭ひ切れなかつたのは尤もであつた。しかし官僚は軍閥の政治的參謀として、或意味においては軍閥を制肘し政黨の政治的技師として政黨を制肘して來た。それには官僚特有の強味があつたのである。その強味とは何であらうか？

官僚は國家機關の實際運用に常に從事する社會層である。その意味に於いて（大局或は世界的或は國内的に）から觀て政治を運用するの能力と眼光を持つて居り、それを職とするの誠實さを持つてゐる。その意味に於いて國家生活の運轉の上からは缺く可からざる一群であり、政治的首位を擁した軍閥にしても政黨にしてもこの一群なしには實際に國家機關を運用することは出來ず、嫌々ながらこの一群を參謀と頼み、技師と信任しなければならなかつたのである。軍閥か政府を引受ける勇氣なく政黨にその準備のない時に常に官僚がその兩間の一部をつぎ合はせて、政府を製造して來、それがよく必ずしも所謂政黨内閣と、政策上に於いて大して後れをとつてゐない事實に觀ても、官僚の政治的意義は分ると思ふ彼等に於ける強味は、綜合的形勢に對する敏感であり『秩序』に對する理想である。それあるが爲めに、社會的推移の認識に對しては、現在の政治勢力中最も正直なるは彼等である。

一時は政黨が全部官僚を吸取し盡すかの觀があつたが政黨が官僚の全部を吸取し盡すにしては、餘りに生命が短かつた。今日では官僚の一部依然として、政黨と軍閥の外にあつて、將來のその強味によつて樹つてゐるそして現存の政治的舞臺に於ける進歩政策の淵源としては、政黨を差しおいて、官僚の一部を舉げなければならぬのは、何故と云ふ皮肉なる現象であらうか？

軍閥が遂に爲す所無くなり、政黨がいたづらに分立抗爭して國家を荒廢に委す時、最も積極的に活躍す可きは官僚の進歩分子である。然し彼等は獨力を以て爲すことは出來ない。一方に軍閥中の新分子と結び、他方に政黨から浮び上つた急進自由主義者と歩調を合せて事を圖るに違ひない。この三個の新分子の擡頭とその抱合とは、日本の政治的局面の上に如何なる種類の變化を及ぼすかは、今日から豫斷することは許されないが、相當に拔本的なものであらうことは豫想するに難くない。それも決して十年二十年の後のことでなく、普選實施後の比較的近き明日のことであらう。

五

無產階級政黨組織の議がいよ〳〵熾んであり、その氣運も向いてゐるやうである。しかし今日のところでは、まだその實施の時は測り知れない。しかしそれが何時であらうと、また組織内容がどうであらうと、とにかく政黨であり『實際政治』の舞臺に乘り出すものである以上は實際政治の推移と、その傾向とに明白な觀察を持ち有利なる形勢打開のために、かつその政治的生長のために、舊政治から浮び上つた新分子を利用し、歩一歩と進路を開拓して行かねばならぬことは言ふを俟たない。來る可き無產階級の政治運動として、長髪とルパシアを『武器』とし、潔癖を『精神』として、往來を放歌して練り歩いた『社會主義運動』の轍を踏ましむること勿れ。徒らに『無產階級政黨』の理想論に捉はるゝの徒は理想の政黨の『見本』を作つて飾窓に陳列することを以て滿足せよ。（終）

雑感

特權内閣だ貴族内閣だと、政治屋は騷いで居る。高橋是淸は爵位を、捨てゝ平民となつて國民の甘心をかはんとしてる。

政治屋は死物狂ひで騷いでゐる。吾々勞働階級は、それを嘲笑してやる。

『お前等が、政權の爭奪の爲に吾々をダシにせようといつたつて、そううまくは行かないぜ』と笑つてやる。

吾々の執る可き途、進むべき途は、最つトウの昔に選んであるのだ。只いつ實現するかと云ふ時期の問題だ。

今度の議會には過激法案とか云ふものが出るさうな。

社會運動者、勞働運動者、こんな奴等は、片つ端からヒツ捕まへて、赤煉瓦の中へ抛り込んでしまはうと云ふ法律だ。馬が笑うぜ『七面倒な法案なんかよして、見付け次第ヤツツケて仕舞つたらどうだ』。と監獄へブチ込んだり、殺して主義が根絶するなら譯ない。

こんなことでお役人が喰つぶしてゐる裡に海の彼方では勞働黨が政權を握つてゐる（一讀者）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

呉海工會の發會式に出席して

覆面の密使

三月十六日(日曜日)ポカノ\〵と温い、うらゝかな小春日和であつた。呉二港公園の大グラウンドに海軍より借入れの軍艦信號旗を以て飾られた二萬の大衆を入るゝ大會場に、國際勞働會議代表選出問題から急に生まれた、所謂

●日●本●一●の●大●組●合●の●創●立●!!

●呉●海●軍●工●廠●從●業●員●二●萬●五●千●の●團●結!!

と、可成大きな衝動を社會に與へた呉官業勞働工會の發會式が、艦隊の奏樂と、花火の連發とを加へて集を知らしたにも拘はらず憲兵、警官、工廠職員、其他軍人官吏に、二萬の五十分の一である四百餘りなる會員の出席を以て物淋しく舉げられた記念すべき發會式の時であつた。

それは全く形式的な、否寧ろ軍隊式とでも云ふ可き會長其他の役員並びに來賓の挨拶に祝辭があつた後、組合員を代表して創立委員並に役員に謝辭を述べるといふフレ出しで一人の男が次の樣な事を言つた。

永い間期待しておつた勞働組合が幸に工廠長閣下の御了解の解の下に創立委員諸君の熱心なる努力に依つて今日生れた事は誠に喜ばしい次第である。

吾々は在來の勞働組合の如くやれ社會革命だの、インターナショナルでなくンばなどゝ非國家的な事を叫び好んで暴動を起し、國家を危地に陷し入れようとするが如き暴民運動と根本的に其の主義主張を異にして居るのである。

又彼等は資本家は勞働者の敵だなどゝ云つて年が年中資本家に無理な喧嘩をせんが爲めの要求を持ち出し、要求が容れないからといつてはストライキをやり、敗そうになれば直に暴行を爲すといふが如き不合理極まる直接行動は吾々の斷じて採らない處である。

吾々は考へる。社會は勞働者と云わず資本家といわず凡ての者の協同生活體なのだ、又この數千年の光輝ある歷史を有する、吾々の郷土である日本帝國を護り、其發展を期する事は吾々子孫の任務であるにも係はらず、何ぞや愛國主義は駄目だ、インターナショナリズムでなくてはなどふ全く彼等は外來思想にかぶれて非國民的な事を云つて居るのである。

吾々は資本家は勞働者の敵だと云ふ彼等の心意が解らない。そう云つてる彼等は今日誰の御陰で生活して居るのだ。全く資本家の御陰ではないか。勞働者が働かなくては資本家は立ち行かない樣に、勞働者も亦資本家が居なかつたなら働く處はなくなるのだ。故に資本家は勞働者の敵ではない、吾々の同胞なのだ。これが即ち勞働組合の進むべき本當の道であつて、在來の組合の足跡は全く勞働者の利害などは無視されたゞ一二の野心家の利慾の犧牲となつて居るに過ぎないのである。

又吾々は民間の勞働者と違ひ畏れ多くも一天萬乘の天皇陛下のお爲めに、國家の爲めに働いて居る官業勞働者である。吾々の一擧手一投足は畏れ多くも天皇陛下の御命令に依つて居るのだ。即ち畏れ多くも陛下は吾々如き者に日本帝國の國防の一務を御委し下さつて居るのである。

こうして吾々はこの君恩に感泣せずに居られようか。

吾々は一致團結心を一つにし以てよく工廠長閣下の命令に隨ひ、假へどんな苦しみがあろうとも國家の爲めぢや、社會の爲だ、國家、社會の爲に犧牲になるのは君に忠義となるのだ、親に孝行となるのだと思つて一意專心働かなくてはならぬ。

これが即ち吾々官業勞働者の使命であり、海工會の精神でなくてはならぬ。

彼は帝國海軍の御用團体工會の會員である。彼は未だ階級意識に目醒めない無自覺な勞働者である。

彼の言葉の中には、無自覺の結果より、或は意識的に、或ひは無意識的に多くの誤解と矛盾がある。

私はこの貴重なる紙面を彼の言葉に對する駁論に費す事は好でない。然しながらたゞ吾々の考へなくてはならない事はこうした言葉を發する彼も亦吾々と等しき境遇の下に呻吟せる勞働者であるといふ事、而して尚彼と等しき否彼以上に無自覺な勞働者が無數に居るといふ事實である。

今後幾多の新しき戰場が我々の前に展開されるのであろう。その戰場を、其の戰術を想ふ時吾々は彼の無自覺なる海工會代表の言葉を一笑し去る事は出來ない。彼の誤解と矛盾とは取つて持つて吾々の運動のポリスイに對し教ふる處が少くないと思ふ。

勞働組合は既に階級意識に目醒めたる勞働者のみを以て組織するといふのではない。未だ無自覺なる多數の勞働者を自覺さす爲め組合に包容しようといふのが使命であり、これこそ社會改造に於ける重要なる役割なのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本農民組合十三年度全國大會記

淺沼稻次郎

日本農民組合第三大會は二月廿八日東京に開かれた日本農民組合關東同盟の後を受けて大阪天王寺公會堂に、二月廿九日三月一日兩日開催された。今大會の大略を順を追ふて記さう。

第一日

大會は示威運動に依つて始められた。廿九日午前九時各地、九州中國四國關西等の代表者及傍聽人より成る約三千の群衆は中之島公園に參集し、朝八時梅田驛着の關東側代表者の到着を待つて行正長藏君總指揮官となり、本日の會場である天王寺公會堂へ向て大示威運動をなす。驛頭に數十流の組合旗は尖頭輝き關東同盟の會旗總本部の會旗を先て愉快な氣をそへ、農民無産階級の決意と威力を示すが如く風にひらめき其列中にはメーデーの如き勇ましき歌を聞き得ぬが沈默の底には力強き反抗の精神が燃へて居る。大阪府泉池新田の代表の立てた「右地上の立毛は假差押をなすものなり」と記された公示札も人目を引いていかにも農民の示威行列らしかつた。

午前十時半天王寺公會堂に到着、代議員席、傍聽席共滿員の盛況である。先づ第一岡山旭東聯合會の主唱の下に「生れて農に生き」の農民歌が合唱されて大會は開かれた。

杉山元次郎氏議長席に着き野頭北河內聯合會寺島宗一氏は關西側を代表して歡迎の辭を述べこれに對して山梨聯合會の名取氏關東側を代表し答辭を述ぶ。

次いで、友誼團體として水平社代表　關西官業勞働同盟の花岡氏、日本勞働總同盟の西尾氏祝辭を述ぶ。其中西尾氏は農民組合と總同盟が實際運動上に提携の必要を述べ、日本勞働總同盟十三度大會に於て決定せる決議文を朗讀し、日本農民組合の發展を祈つて降壇された。吾等は工場勞働者と農村無産階級は協同すべきことを主張して來た然も公會の席上に於て總同盟大會の決議を以て、表明したのは始めてゞある。我等は工場勞働者と農民と協同戰線に立つて資本主義制度の改造に突喊する日の一日も早からん事を望む。

次いで各地より祝電を披露し各種委員の任命、資格審査委員會の報告等ありて午後二時午前中の會議を終る。

午後二時再會

各種報告、野頭仁科君は本部報告として

大正十一年創立當時僅かに十六名の會員を有するに過ぎなかつた組合が二年後の今日におつては會費納人の戸主の會員二萬九千人之れが家族を併せて十萬人、昨年中に約四百件の小作爭議を起し大部分は二割乃至五割の小作料輕減の目的を遂し法廷に爭ふもの約七百件、而も殆ど凡てが實際成果を收めたと報告し、會計報告は行政君之を爲し、莊原君は關東同盟を代表して、昨春來新潟、山梨、群馬、北海道に於て非常に戰鬪し日々會員の增加を見且、組合も其の基礎を固め小作爭議昨年中百二十件中六十四件は勝利、四十件は妥協十件は、未解決のまゝ、敗戰は僅かに六件と熱辯を振ひ、尚次いで九州代表の高崎君、香川縣聯合會代表前川君、京都南桑聯合會代表佐々木君、岡山縣代表河本君、三重縣代表上田君、北河內代表寺島君等、各夫々の地方に於ける小作爭議と農民運動の實情を熱烈なる辯を振つて報告爲し、最後に建議案委員長山上君は建議案五十件中廿一件を採擇した旨を報告し午後五時半第一日の日程を終りて散會。

第二日

午前十時半引續き開會、代議員數四百五十餘名、傍聽席も一日に變らず滿員、開會初頭杉山組合長は病尚充分癒わざるの理由で議長を鈴木文治氏に讓る可き事を議場に諮る。議場異議なく鈴木氏議長席に着く之より議事に入る。

一、宣言綱領改正の件

二、主張削除の件

（一案共本部提出）

本案は特別法規委員會を任命し委員會に於て考慮立案する事に決定す。

三、農民メーデー制定の件

（旭東聯合會提出）

之が提案の主旨は工場勞働者にメーデーがあるが如く我等もその決心と示威を支配階級の前に公にする爲に、日本農民組合の設立日たる四月九日を以て農民メーデーと定め我々の意氣と希望を示さんと云ふのであつた。

農民メーデーを行ふに就ては異論はなかつたが時期の點に付大激論があつた。一代議員は「四月九日は既に農繁期に這入つて居るので三月九日にして欲しい」と修正説を出し又或る者は「メーデーは萬國の無產者が一致團結し二十四時間の勞働○○の日である、小作人も勞働者だ日を別にする必要はない」と五月一日説を出し、議論沸騰、加ふるに傍聽席よりの野次もあり彌次又盛んに應酬して議場騷る

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

喧囂を極めた。議長は討論終結を宣して採決に入る。修正說は少數の差で破れ原案通り可決。

四、青年部設置の件

（關東同盟提案）

農村は經濟上の關係から戸主卽ち老人が主として小作運動にたづさはり、覇氣に萠へ前途ある青年が組合に組織されて居ない狀態にある。然るに他方ブルショア及び軍國主義者は此農村青年に彼等の宣傳をなさんとして居る。此無產青年の危機を救ひ且つ農民組合を益々活氣あらしむる爲に青年部を設立したいといふが提案の理由であつた。滿場異議なく規約中に入れる事になつて可決された。之に依つて農民組合運動を一層活潑なものとし、其運動に一生面を開く事になつた。

此時京都南桑聯合會の佐々木隆太郎君より目下爭議中の大阪聯合會所屬の大仁發動機並に埼玉の爭議團に、一方は勞農團結の意味に於て他方は同志救助の意味から本大會の名を以て義捐金を贈らうとの緊急動機が提出可決され直に帽子をまはした結果穴明錢も混じて金七十圓六十八錢一厘の淨財が集まつた。

五、小學校教師に組合員中の青年の補習教育を一任せざるの件

（旭東聯合會提出）

今日の教育は概ね權力階級支持の道具に使はれて居る。小學校教師も經濟的に無產者でありながら有產者の運動の奴隸となつて無產者の運動を阻止す可き立場に在る。かゝる者に子弟の教育を一任するはもつての外だ吾々同志自身でお互に教育訓練さる可きとの理由より提出

各代議員今日の教育制度を非難し本案を滿場異議なく可決

六、今後婦人の組合加入を極力勸誘して大會代議員に婦人選出をなすの件

小作運動は夫婦男女相提携し相助け合ひ一致團結して行かねばならぬ、だから婦人も組合員に加へ代議員を送る事にしたいと提案者の說明あり九州郡染より選出の婦人代議員松居つも女史の熱烈なる贊成希望の發言あり滿場一致可決

七、朝鮮に日本農民組合を宣傳する爲に宣傳隊を派遣するの件

朝鮮人は朝鮮の資本家地主と日本の政府の爲に二重に搾取され壓迫されてゐる。その實狀內地の小作人より悲慘を極めてゐる。吾れ等の運動は世界の無產者解放にある宜敷く朝鮮へも餘力をさいて宣傳し組合に加盟をすゝむ可きだ。この提案者の說明があつた。之に對して議論多々あり議まとまらず、此の時東京の朝鮮勞働同盟首季獄君は議長の指命により朝鮮人としてこの計畫に對する希望を述べた。然し大阪及び香川の聯合會は本案の主旨には贊成だが、時期尚早なる故保留致したしとの保留案を提出した。此の時突然三重聯合會の池田君が日本國內に於ても朝鮮人同樣に一般國民より虐待されて居る特殊部落民あるを忘るなといふ意見に依つて議場は大混亂におち入らんとせしが、議長の巧妙なる統制により採決に入つたが原案は多數で否決された。

八、國際勞働會議に關する件

（本部提案）賀川氏說明

國際勞働會議に對し代表を送

◇日本農民組合全國大會

大正十三年二月二十九日三月一日の兩日大阪天王寺公會堂に於て

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るに政府が農民組合を除外せしこと、は不合理なり、各國政府は農業勞働の意を廣義に解し小作農をも含むに拘はらず、我政府は此の點を明かにせず、我國小作人は企業家なりとし、國際勞働會議に代表を送るに當つて農民組合を除外せるを抗議し以後除外せざることを政府に忠告すべく次の如く決議されたしと主張し、滿場一致可決。

（一）國際勞働會議の代議員選出に際し日本農民組合を加入せしむること

（二）國際勞働事務局に『小作人組合』もその勞働會議に參加せしむ可きものなることを條文に明記せしむること

（三）日本政府に『小作人』に對する態度を確立せしむること

（四）國際勞働事務局に小作人組合の發達を阻害する日本各府縣の警察令を彈劾せしむること

此の時水平社の西光萬吉君緊要動議ありとて演壇に起ち階級打破の決議を要求し、水平社と内鮮小作人農民組合總てを網羅して提携を希望し『從來搾取制度の犠牲として存する國内に於ける差別の撤廢を期す』といふ決議を了解して議事に入る。

それから、次いで山梨縣代表の緊急動議にて目下爭議中の縣下藤田村同志に大會の名にて激勵の電報を打つ事及義捐金をおくる事を決議し早速義捐金を集めた。

九、移民政策に關する件

（關東同盟提出）平野君說明

現在日本政府の取れる侵略主義的移民政策を非難し、農民組合に於て其の對策を確立すべきを主張し委員附託となる。

十、爭議解決後の對策として經濟運動の確實と組合の結束上積立金をなす事

（香川聯合會提出）

多少の議論ありしも大多數にて可決。

十一、小作法案に關する件

（關東同盟提出）

十二、土地政策に關する件

（關東同盟提出）古屋君說明

右一括して十名の委員に附託された。

十三、小作爭議調法案に關する件

（關東同盟提出）古屋君說明

古屋君起つて右法案の小作人に取つて有害なるを說き絕對反對すべきを主張し滿場一致可決

十四、各府縣の農業爭議の取締令に對する徹底的反對の件

（香川提出）前川君說明

十五、社會運動取締法に關する件

治安警察法、流言蜚語取締法過激社會運動取締法案に絕對的に反對する事

（關東同盟提案）淺沼君說明

十六、勞農ロシア承認の件

（關東同盟提案）岡部君說明

右三案は滿場一致可決さる。

次ぎに法規委員會の報告があつた、これは組合の新規約改正なる故緊張して論議せられた。

先づ吉田法規委員長から『宣言綱領決議は現在改正を必要としないことになつた』と報告あり滿場一致可決規約改正の件について委員會の結果になる改正案『本組合は全日本に於ける小作農、小作兼自作農及日雇農其他本組合の承認したる者を以て組織す』の討議に入る『本組合の承認したる者』の條項で農民に非ずとも自覺せる知識階級は優待すべしとの說と、『その他組合の承認したる者』を削除すべしと旭東聯合會其他より、組合員たらんとする者はよろしく農民たるべしと知識階級排斥の議論沸騰し本質論も出れば、强硬論も出たが結局改正原案承認

十七、總選擧に對する農民組合の態度

（旭東聯合會提出）山上說明

旭東聯合會は、總選擧に於て政治運動に參加する時は、組合運動を阻害し、既成政黨に利用される恐れあり又組合員中より候補者を立てることも必ず失敗するは明かなるに依かゝる豫想の下に參加するは不加となし全然棄權すべきを主張した。然るに香川縣聯大會は、昨年の縣會議員選擧の時の經驗よりして政治運動に參加すべきを主張した。本部の吉田辯護士は本部政治部委員長として政治部にて決定せる事項を報告しそれに私見をつけ加へた所が報告に私見を加へるは越權なりとて會場は大混亂に陥つた。議長は交涉委員の折衝を求め小憩の後再會されたが直ちに採決に入り香川縣案が採用された。然し關東同盟はその採決に異議を主張し、少く共立候補をなし、又組合として應援する場合は中央委員會の承認を經るは組合統制上必要なりと唱へて讓らず、香川縣聯合會に對して脫會を叫ぶものさへあつて議場が混亂したが賀川豐彥氏より香川側に反省を求め又、鈴木會長も慰撫に努め漸く香川代表も諒解し失言者も退會云々を取消し香川縣内部の相談により關東側の主張が通過した。

結局立候補をなす者、亦は組合として選擧運動に參加する時は中央委員會の承認を經る事になつた。

午後九時全部の議案の審議を終つた尚ほ次期大會は來年二月東京で三日間開く事に決し役員選擧に入り中央委員を十名とし組合長以下の役員は委員が別室で協議の結果左の如く決定した

組合長杉山元次郎、主事行政長藏、會計安藤國松、中央委員は▼關東側鈴木文治、淵澤要平、古屋芳雄、須永好▼關西側賀川豐彥、山上武雄、寺嶋宗一郎、藤井熊吉、前川正一、高崎正戸

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產者大會の印象

赤松克麿

勞働總同盟第十三年大會と農民組合第三回大會とを觀て、感ずる處頗る多いが、自分はまだ其れを系統的に纏めて居ない。茲には其の二三の印象を斷片的に述べやう。

右の二つの大會を双方共見た人は、農民組合大會の方が、面白かつたやうに感じたらしい。面白いといふことは、議場の空氣が極度に緊張することを意味する。成る程、總同盟の方は、議事が訓練されて如何にも玄人といふ感じを與へたが、併し一方何んだかアッケないといふ氣持を與へたやうである。その原因は何んであるかといふに、それは主として組合組織の發達如何に歸することが出來る。總同盟の方は、近來組合組織の集中化が發達して、一般組合員の意志と中央の代表機關の意志との疏通が調子よく行つて居る。だから大會のない平常の場合でも重大問題に就て組合員の意志が中央機關に精確且つ敏活に反映し、また中央機關の意志が一般組合員に調子よく反映する。

かくの如き集中的組合組織の下にあつては、しかも其の組合の量が餘り大きいものでなければ、其の大會は、大抵の場合、平凡に終るの勝ちである。何んとなれば、重大問題は大會の開催前早くから、各聯合會、理事會各同盟會、理事會、中央委員會等に於て十分討議され、大體の見當がついてから後、大會の議題に上るからである。例へば、總同盟が今年の大會で劃時代的の重大宣言を發したことにしても、此の宣言を發するに就て最初の動因を成したものは、昨年の震災前八月廿五日の中央委員會の討議であつた。此の委員會では勞働法制に關して理想派と現實派（此の言ひ現し方は當を得ないと思ふが）の討論があり、それが實に白熱的の論戰であつた。此の長時間に亘る緊張した論戰の結果、理想派は現實派の意を諒解し、中央委員會は現實派の意見を採用することになつたが、其の後、多くの機會に於て現實派の主張に關する討議が練り上げられ、其の揚句に大會にかけられたのである。大會の討論に精彩が乏しいのは當然である。

農民組合の組織は、總同盟の集中的なるに反して、自由聯合的な要素を多分に持つて居る。農業は地理的にも企業的にも、工業に比して分散性を有する。大會に集まつた代議員を見ても解る如く、彼等の間に地方色が顯然と現はれて居る。農民組合は各府縣の聯合會までは組織が集中化されて居たが（尤も府縣の聯合會の成立して居る處も現在尚ほ少數である）それが同盟會、更に進んで總本部の中央委員會の組織になると、頗る放漫なものになつて來る。從つて中央委員會の重要性が足りなくて、中央委員は、中央委員意識よりも地方聯合會意識の方が强い。そこで農民組合は各聯合會のボンヤリ聯合したものであつて、中央委員會は各聯合會代表者の寄こした相談會のやうになるのである。今年の大會で、香川縣聯合會の代議員が中央委員會の承認を經ずして、政治行動をせんとする意志を示したり、岡山縣聯合會其他の代議員が、關西同盟會を作ることに反對して近畿山陰山陽九州四國の各地方に夫れ〴〵同盟會を作ることを提議した事などに於て、農民が集中的組織を好まないで、自由聯合的組織を好む傾向がハッキリ看取された。此點は、無產階級運動の全局から見て、相當に重要な問題を示唆するものであると思ふ。

農民が政治行動に關して、あまり思慮を拂はないで、輕々に乘り出さうとする態度が、大會に於て能く現はれた。香川縣聯合會の如きは、未だ普選實施を見ない五月の總選擧に、中央委員會の承認も經ないで乘り出さうといふ態度を示した。農民が都市勞働者よりも政治に興味を有する理由は色々あるが、農民の政治熱は、動もすれば無產階級的政治精神を遊つて、遊政會や革新俱樂部あたりの新しがり屋の政治戰線に近づく危險性を持つて居る。現在農民組合の指導精神が、まだ完全にプロレタリア化されない時に、組合員の間に起る政治行動には、警戒を要するものが少くない。此點に就いて來るべき總選擧には、農民組合は絕對に棄權すべしと主張した岡山聯合會の態度は實に見上げたものであつた。無產階級の政治行動は（地方の農會や村會は別として）普選實施までは、政治的教育及訓練等の準備に努力を傾注し、普選實施後に於て、徐に政治舞臺に乘り出しても決して遲くはない。政治行動に就いては、勞働組合には自重派が多く、農民組合には積極派（惡くいへば妄動派）が多いやうである。此點も無產階級運動の全局から見て、考慮に値する問題である。

◇次號豫告

メーデー號

次號は「メーデー號」として四月中旬に出す。それで組合や團体其他宣傳用の大部の申込には實費以下に割引します。發行部の豫定もありますから至急豫約して下さい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

農民と總選擧

神道久三

（一）

勞働者の終局の解放は、勞働階級が政權を掌握し、勞働者獨裁の政治を實現しなければなし遂げられない。

最近吾々勞働階級の間に、叫ばれてゐるプロレタリアの政治運動と云ふ事も、畢竟するにこの意味に外ならない。

決して、勞働階級の政治運動は、地震でビックリして飛び出したり、支配階級の代表者共の普選實施の御宣託の如何によつてグラグラする樣なものではない。階級鬪爭は、勞働階級が政治的鬪爭を辿る事によつてその目的を達成する事が出來る。

從つて吾々勞働者の階級意識が、最も鮮明に現はれるのも、政治鬪爭の舞臺に於てである。

過日開かれた日本勞働總同盟全國大會並に日本農民組合全國大會の席上で力說せられた政治運動の主張も亦これに關連する各種議案も畢竟するにこの意味の政治運動に外ならない。

しかしながら、吾々はこの二つの代表的大會が、同樣の意味の下に、プロレタリアの政治運動を高潮せるにも不拘ず兩者の間には、階級的自覺の低度に多少の差異のあつたのを認めない譯にはゆかぬ。更に語を代へて言へば、前者はハッキリした階級意識に立脚してゐるにもかゝはらず、後者は尙ほ幾多の誤られたる愛國心、囚はれたる國家觀念の氣分がヌケ切つてゐないと云ふ事である。

これは農業勞働者が、工業勞働者よりも、階級的編成が遲れてゐたために、まだ階級意識も發達の階段にあるものとして是認せねばならぬ。又、一面では農民組合が組織せられて僅か三ケ年しか經過しないにもかかはらず、今日の發達を見たと云ふ事は、將來に向つて危速な發達を見、階級意識も鮮明に現はれる事を示すものである。吾々は工業勞働者に比較して保守的であると云はれる、農業勞働者諸君が、一日も早く更に一層ハッキリした階級意識に立脚して、政治運動の舞臺に猛進せられんことを希望して止まない。

（二）

一切の階級鬪爭は政治的鬪爭であり、勞働階級が獨裁政治を實現する事によつて、勞働階級の終局の解放が期せられるのではあるが、吾々勞働階級の運動には、經濟運動と政治運動の二つの方面がある。

經濟運動と云ふのは、云ふ迄もなく、勞働者の經濟狀態を向上させるための運動で、賃銀の値上とか、勞働時間の短縮とか、小作料の低減とか、其他勞働條件の改善、生活狀態の向上等と云つたものが差し當つての目的である。卽ち、直接の利害關係を目的としての運動である。

そしてこの目的を實現するための手段としては、同盟罷業、同盟怠業、小作米不納同盟、耕作地返還等がある。この實行方法として勞働者が産業別、或は職業別に團結して組合を作り、更に其の組合が全國的に結合して、專ら團結の力、組織の力によつて資本家と鬪爭して、目的の實現を計つて居る。

未だ産業機關が發達しなくて手工業、家内工業の時代には資本家と勞働者の間も、所謂親方と弟子と云つた關係で、そこにはまだ階級的對立は殆ど無かつた。が、だんだん機械の發明があり産業機關が發達して來ると一つの工場で何百人何千人の勞働者を使ふ。そうして、雇主は勞働者の勞働力を一時間幾ら一日間幾ら一ケ月幾らと云ふ具合で、商品として買ひ求める。だから、雇主と勞働者との關係は唯金に依つて繫つてゐるだけである。斯ふなると、資本家は一厘でも安く吾々の勞働力を仕入れ樣とする。吾々が喰ふに困るから、と云つて賃銀の値上げを請んだ位では承知しない。そこで吾々も、ストライキ等と云ふ直接行動に依つて、賃銀の値上げ勞働時間の短縮を資本家に迫らなければならなくなる。

こゝで利害の異なる階級が對立して、階級意識がハッキリして來て農民も此關係内から脫する事は出來ない。一か八かに訴へて鬪ふより外に途が無い。

この運動が更に大規模に、大組織になつて何十萬何百萬と云ふ樣な組合員を擁する樣になると、總同盟罷業を行つて、資本家の國家機關に迫り、法律を動かして勞働條件の改善を實現する。もつと進んで來ると、總同盟罷業によつて、資本家の政府を倒して勞働組合が産業機關を掌握して勞働者の解放を期せやうと云ふ事にもなる。

だがこいつは、オイソレとは出來ない。出來ない許りでなく全然不可能だ。空想だ。ナゼと云ふと、資本家は國家權力を握つてゐる。權力卽ち軍隊や警察や法律の力で、罷業を蹴散らしたり主謀者をヒッ縛つて仕舞ふ。その後に來るのが白色の恐怖政治だ。これで失敗したのが、今日のイタリーの勞働者だ。

さうして見ると、勞働組合の當面の役目は結局勞働條件の維

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

持改善と云ふ事になる。

しかし、只資本家の社會で勞働條件の改善を百年やつた處で勞働者の解放は到底望まれない

では、どうしらいゝか。何かよい方法はないか。そこで勞働階級の政治運動と云ふ事になるのだ。

（三）

今の世の中は金が人を支配する。云ひ換へると、生產機關を持つてゐる階級が持つてゐない階級を支配する。即ち經濟組織が土臺で政治組織が其の上に築かれてゐる。

ところが、其の政治組織が今度は土臺の經濟組織の私有財產制度等を、强力を以て支持すると云ふ事になる。法律と行政議會と役所がその代表的なものだ。

そこで、この政治組織を何に●●●●とかして政治權力を勞働階級の手に完全に握らねばならなくなるでなければ勞働者の解放は出來ない。

ところがこいつもオイソレと簡單には出來ない。そこでこれを實現するために色々の問題が生まれて來るのだ。

先づ第一に必要なのが勞働者の政黨だ。政黨は工業勞働者も小作人も其他の無產階級を打つて一丸とした分子の、階級的意志を代表する機關で、資本家階級の政治權力と闘つて行く機關だ。勿論これには、一定の綱領と、統制と、訓練が必要なのは云ふ迄もない。政黨のない所に勞働者の政治的力はない。階級闘爭が政治的闘爭である限り、普選が實施されると否とに拘はらず勞働者の政黨が無ければならぬ。先づこいつを組織することが當面の急務だ。

ところが、現在の日本では勞働者の獨裁を目的とする樣な政黨の存在を許さない。又一般の情勢から押しても出來る範圍内の政黨を作る事が實際上緊急の事のやうだ。

次に、今のブルジョア議會に對して吾々勞働階級は一體どうしたらいゝかと云ふ事になる。

吾々の政治運動がブルジョアの手から政權を〇〇する運動だから、と云つて、議會を知らぬ顔の半兵衛で遠くから視てゐるわけにはゆかぬ。吾々は一歩々々足を踏しめて乘り込まねばならぬ。

吾々は敵の本陣―議會―に乘り込む事を遠慮してはならぬ只そこで踏止まつてはいかぬ

吾々の議會に乘込むのは、ブルヂョア議會の腐朽を曝すためではなく、内部から打破すると共に街頭の政治運動を容易ならしめるためである。内外呼應して突撃するためである。

議會は、吾々の政治運動に重要な戰場である。

それではこの戰場に參加するために普通選擧の問題はどうするか。これが先決問題だ。

吾々が「普選になつたら選擧權を有効に使用する」等と云ふ事はもう定り切つた問題だ。

吾々は普選を要求する。適が急所を拔き取つた普選を投與へるのを待つてゐるのでなく、階級闘爭の立場から進んで獲得すべきものだ。只問題は、案外早く普選が實施されるものとすれば、それに對する準備と、政治的訓練とに全力を注がねばならぬ。何れにしても政黨か先づ必要だ。只、如何なる場合でも、吾々の政治運動は、ブルジョアの手から政權をブッ取るための努力であることを忘れてはならぬ。

（四）

吾々は斯ふ云ふ目的で議會に乘り込む。所が議會に乘り込めば、それで吾々の思ふ樣に實現出來るかと云ふとさうはうまくゆかぬ。

吾々の政治運動は街頭に在る力である事を忘れたら飛んでもない失敗に終る。合法、非合法その宜しきを得ねばならぬものとすれば、議會運動は多くの場合合法運動で、街頭運動は非合法的性質が多い。そして合法運動は非合法運動を、支持すると共に一層可能ならしめる處に重大な使命がある。

吾々の政治運動の戰線はかくして無限に擴大せられる。こうして左翼と右翼との任務も必要となつて來る。

左翼は氣一本に共產黨主義の旗を振りかざして突進する。右翼は目醒ない大衆を後循さして一歩〳〵進んで來る。殊に現在の樣な反動期と目下の日本の社會狀態では右翼の任務が重大となつて來る。

それで問題がある。左翼の方は氣一本で突撃するのだから問題はない。が、右翼の方の運動になつてくると色々要心深く周到な注意をせねばならぬ。

先づ第一に階級戰線が混亂する。階級意識が不鮮明になる。例へば普選を要求する治安警察法の撤廢を要求する。勞働、小作法案の改正を迫る。所が敵のブルヂョア政黨の或るものが又同じものを要求する。兎に角表面からその表れを一寸見ただけでは敵か味方か判斷に苦む。

では、こゝでブルヂョアの議會と政黨の化の皮を剝ぐ必要がある。

先づ第一にブルヂョア階級の利益を擁護する事は云ふ迄もない。

次には勞働階級の擡頭を抑壓する。正面から壓迫すると共に裏面から切り崩しにかゝる。或は又政治的小策―普通選擧―等と屁理窟を並べて階級意識を痲痺させ樣とする。

第三は、或る種の利益を代表する彼等の仲間の一團と、他の一團との間の利益の調節と爭奪とをやる。彼等の仲間の政權爭奪

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

爭もこのためだ。政友會、憲政會、革新俱樂部等が騷ぐのもこのためだ。奴等はこのために時として、小ブルヂョアや准プロレタリアの利益を擁護すると見せかけて、政權爭奪の渦中に引き入れ樣とする。

第四は、ブルヂョア國家と國家との間の利益の調節と爭奪だ。

さあそこで、吾々が褌をシツカリ緊めてかからなければ飛んだ目に會ふ。

吾々の政治運動が必要であればあるだけ、又危險も作つてくる。一體吾々はどうしたらよからうか。

言下に答ねる。何時でも階級意識に基いて行動する事だ。即ち、階級的な組織の下で一致行動に出る事だ。

階級的な組織とは何か。勞働者の政黨と組合だ。政治鬪爭の舞臺では、政黨が陣頭に立つて組合が背後から支持すると云ふ事になる。經濟鬪爭の場合では組合が陣頭に立つて、政黨が背後から支持すると云ふ關係になる。階級鬪爭に二つの方面があるといふのはこれだ。この機能をゴッチャにしたり、片一方が缺けてゐるために戰線が混亂する場合がある。

（五）

ブルヂョアの總選擧が近づいた。勞働階級はどうしたらいゝだらうか。特に農民はどうしたらいゝのか。工場勞働者で投票權を持つてゐる者は極僅少で且つ階級的訓練も行き屆いてゐるから、殆ど問題は起ないが、農民の中には可成有權者もあるので問題が起る。

過日農民大會の席上でも棄權說と行使說とで非常な激論を鬪はした結果『地方の任意』と云ふ事でケリが附いた。であるがこの決議に反對が出て、附帶條件として『個人としては自由であるが組合として選擧に參加する場合組合の公認候補は本部の承認を得る』事となつた。

これに依ると棄權しようと云ふ組合は棄權する。投票しやうと云ふ組合は行使する。組合として一致行動を執るものは執つていゝ、いやな組合は執らんでいゝと云ふ事になる。

只、組合として選擧に參加する場合と、公認候補を立てる場合には本部の承認（通告だとも云ふ）を得ねばならぬ。從つて公認候補でなく、組合として參加する形式を執らなければ一致して或る候補者に投票する事も出來る、又其の幾部分を或る候補にやつて他の一部分を他の候補者にやる事も出來る。同樣に各個人々々が任意の候補者に投票する事も出來る譯だ。

要するに地方の組合のやり方一つで種々な使ひ譯が出來るのだ。

さあ問題だ。お前はそうちを向け、己はこつちを向くと云つた調子になりはせないだらうか戰線が混亂して來はせぬだらうか。此時だ。ブルヂョアの政治家が乘ずのも、野心家が喰ひ物にするのも、支配階級の手先共が組合を攪亂しやうとするのもこの秋だ。

吾々は信ずる。農民諸君が決して敵に乘ぜられる樣なへまな似はしないだらうと。しかし戰いは一人角力でない。大丈夫の上にも大丈夫を踏み、警戒の上にも警戒を必要とする。

況んや、勞働階級の政黨の組織すら見ざる今日、而も、比較的階級的訓練も乏しく階級意識すら誤られたる國家觀念の爲に禍されてゐる點多しと云はれる農民諸君が、制限選擧制の下で、而も、全國農民組合の一致行動の下に非ずして、各組合任意の行動に於て、總選擧に參加せんとするに至つては險呑だ。

吾々は希望する。今度の總選擧に對しては出來る事なら各組合が一致して棄權したい。どうしても參加するなら『一票も散らすな』の一合言葉で、組合の有權者全體が本部が承認した候補者に投票する。少くとも『地方任意』と云ふ事を『各個人の任意』とか『組合内部の幾部分の子の任意』とかにしないで地方の聯合會が一致して棄權するとか、本部の承認を得て、本部の承認した候補者に投票すると云ふ樣にせねばならぬ。

未だ資本主義的經濟組織が發達せないで、社會制度が資本主義の最後の形を執つた我が國の農村に於いては、賃銀勞働者（日雇人）が僅少である。從つて經濟運動も政治的色彩が濃厚なのは當然である。

斯ふ云ふ狀態の下で、且つ農民組合の組織も最近の事であり其他種々な地方的な分散的な關係から、今年の總選擧は不統一の下で參加を餘儀なくせられたであらう。

しかし、この次ぎの選擧には今日の樣な狀態を脫しなければならぬ。農民組合が一致して階級的態度を決すると共に『一票たりとも分散する勿れ』と云ふ信條と訓練を以て臨まなければならぬこの信條と訓練とが無くて各自が勝手な行動に出るならば勞働階級の政治運動は、結局議會主義運動で、且つ、ブルヂヨア政治家共の喰物となる事を免れる事が出來ない。

吾々の政治運動は、飽く迄も階級鬪爭である。勞働階級が政權を奪取して獨裁政治を實現するための努力である。吾々の政治運動は、階級意識に基いて、階級的組織の下で、統一的な行動に出ねばならぬ。

吾々は、諸君と共に、この信條、この覺悟、この組織の下で政治運動に猛進する事を希望して止まない。

勞働階級の終局の解放は、斯くしてこそ初めて實現する事が出來るのだ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小作運動の波及

―田舍の出來事―

新井生

一

僕が國へ歸つた二日目に小作米の取立てをしてゐる從弟がやつて來た。そして毎年キチンと收まる小作米が今年は少しも集まらぬと云つた。

「何でも他村から人を呼んで來てあちらこちらで集會を開いてゐる樣だ。僕も一寸きゝに行きたいと思つてゐるが、ちつとも知らせないのでね。聞けばいちいち小作に取つて無理のない事ばかりなのでよほど動いでゐるようだ。」

集會と云へばお寺の說教か、たかだか農會のお話位であつた處へ、小作人だけが集まりを開いてお互ひの立場や利害を話合ふ樣になつた。時には會場が手に入らないで野天や納屋で演說會を開いてゐると云ふ。どんなに馬鹿にされてゐる小作人もいよいよ食へなくなると考へださずには居ない。

その翌日僕は可なり離れた父の家へ行つた。そこへ村の駐在所の巡査で父と親しくしてゐる人がやつて來て、年始の酒を飲み始めた。東京から歸つて來たと云ふ僕にも杯をすゝめ乍ら巡査が云ふには「こんな田舍にも時勢の力と云ふものは爭はれないものでしてね。近頃小作運動がボツボツ始まりかけました私の管轄は二村で約六百人の小作が居ますが、それが昨年末からブズブズ云つてゐます。先日もいよいよ、演說會を開いて物の分つた百姓の話をきくと云ふので通知を出しかけました。此際ソンナ事をすると必ず惡化するし、地主の方へも角が立ちますから、色々中心人物をよんで話をして演說會だけはやめさすことにさせました。これでまあ安心はした樣なものゝ、何時どうなるか分りません」と、如何にも演說會を中止した事が、否中止してもらつたことが、自分の手柄の樣な顏付きをした。

僕はその手柄顏を見て片腹痛い氣がしたが、此處にも動いてゐるな、と思つて痛快な感じがした。

二

二三日立つて郡公會堂に、東京歸りのブルヂョア學生が震災に關する演說會をやつた。勿論社會と云へば本鄕と銀座しか知らず、東京ではちつとも勉強しないで遊んでばかりゐる彼等は演壇に立つと云ふ自己滿足以外に何物も持つてゐる筈はない。

彼等はたゞ支離滅裂で、抽象的な文句を並べ得るに過ぎなかつた。中に經濟學を「專門とする」帝大の學生がゐた。彼はおこがましくも、分りもしない小作問題を論じ、近來地方に於ける小作運動の勃興は、勞働ブローカーの煽動に過ぎないと云つた。この時、太い百姓の聲がした。「畜生何を云ふか」と怒鳴つた。どうせ正直な、おとなしい地方人だから彌次なんか居やしまいと馬鹿にしてゐた司會者はこの怒號にビックリした。そして何と思つたか「脫帽を願ひます」と叫んだ。見ればその百姓は汚ない鳥打を着たまゝ聞いてゐた。脫帽を願ひます、とは何と云ふなさけない輻腹だらう。

それから古いドイツの例を取つて自作農創定の話しをしかゝると「その自作が食へないぞ」と彌次られたり、果ては演說になれませんからと云つてスゴスゴ引下がつた。

御用講演が默つて聞かれる時代は過ぎた。自己の利害に目ざめた者がポツポツ反抗の聲をあげだした。

三

歸京する前日僕は農民組合の支部へ行つて色々な話をきいた。他郡へ出掛けて行つたのも彼等であれば、書生を叱りつけたのも彼等であつた。組合が出來たのは僅か一年前であつたが、今は一郡に亘る聯合會を作つてゐる。その七四間に八間の「無產農民會館」を建築して小作運動の根據たらしめ樣としてゐる會館は二月の始めに落成式を擧げた。組合長が大工で、人夫は皆な組合員の出勤だから仕事も都合よく行つた。第一にやりたいことは村民大會をこゝに開く事だ。この村には村會議員が二人缺員であるが村長は組合の威力を恐れて補缺をしないのだと云ふ。それに對する抗議である次ぎには青年の雄辯會を幾度となく開いて思想的に啓蒙して行く。圖書室を設けて無產者敎育の一端をやる。夏は夏期學校を開いて各組合の中堅分子を養成するなど、前途多忙、意氣揚々たるものがあつた。

組合が出來てから農會はなんど事業をしない。農會にも勿論小作人が這入つてゐるから何かやれば直ぐ小作側に取られてしまふからである。組合に相談しないで土地を賣つた一人の地主は村八方を喰つて弱つてゐるし青年團の幹部は改選されて殆ど小作側が占めてゐる。學校の校長は組合のために會場を貸さざるを得なかつた。

斯樣に、經濟的目的のために團結した小作組合が、勢力を得ると共に次第に、學校、農會、村會、青年團を自分の側に組織し始めた。これは自然の數であり、必然の勢である。かくてこ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

その初めて、小作が解放されるのだ。要するに、小作組合の力だ その前に地主のもつものは雪の樣に溶けてしまふ。その跡へ新しい社會が必然の勢ひで伸びて行くのだ。

この組合の最もいゝ點は、所謂幹部が專門的でないことだ。いざと云ふ場合には何人でも演說者があることだ。二手にも三手にも鬪士を派遣することの出來る樣に平生から努めてゐる。

しかし一般農民の間には封建的な奴隷根性と小成に安んずる島國根性が喰ひ入つてゐる。これを打破することが組合の第一の仕事だ。集會では經濟的に小作の地位を說明すると共に、封建思想打破に極力つとめてゐる。去年の縣會議員選擧には『小作でも縣會議員に出られるぞ』と云ふことを示したため、敗北を豫期して立候補した。

あらゆる機會に封建思想をやつけるのが目下の急務である。

野心家の飛躍を阻止せよ

平野學

小作人組合の仕事は本來の性質上小作料の引下が主で戸數割問題だとか購買組合等はその内職であり副業である。主業内職と共にその遂行を全くするには地方の特殊事情に從はねばならない。こうした關係から小作人運動は郡聯合會とか縣聯合會又は日本農民組合と云ふ樣な組織が出來てゐても事實上地方分權であつた。現在でもそうである。地方分權と云ふ事は半面から見て個人中心の運動とも云ひ得られる。殊に舊來の傳統に忠實で階級的目覺の薄い農民の間には個人的野心家の活躍の範圍が多分に殘されてある。

普選實施の聲が高まるにつれて農村でも政治運動の氣運が動いて來た。政治運動は經濟運動と異つて個人的又地方的力は全體の運動の上に餘り効果を及ぼさない。組織的な統一的な全體的な力でなくては其弊のみ多くして實蹟を擧げ得ないものである。

然し地方農村の指導者の中には統一的な運動を無視して、個人的野心を滿足させ樣とする者がないでもない樣である。小作料引下運動で漸く地方的に基礎を固めた小作組合は政治運動の勃興と共に農民の全國的組織を完成す可きである。

それには中央との連絡を密かにすると共に青年部の設置が肝要である。元より將來の努力を恩に着て暗に普選實施後にその報酬をほのめかすものや、既成政黨の札付者をかついで飛び廻る人々に對しては十分の環視を爲す事が必要である。

此人がと思はれる人で而も農民組合の樞要の地位に在る人がひそかに各地組合の加盟を阻止したり又いかゞわしき政黨屋をかついで議會請願の運動を起すなど今や農民運動は危機に迫つてゐる。政治運動の氣運が濃くなると共に野心家の飛躍が想像されて餘りある。

農民運動は經濟運動より政治運動へ轉回されて追々階級戰の形態を整へて來るであらうと考へてゐた。處が返つて野心家に飛躍的發展の機會を與へて組織運動が個人運動に引もどされんとしてゐる。今後の農民運動を攪亂するものは官憲や地主であるよりむしろ政黨屋や組合内の野心家であらう。

工場の兄へ

農業勞働者　淸水枉美

農民のメーデーは、
目覺めぬ、先發の決議なり。
トラワレの頭で、
老眼で、キメタことだ。
そんな、ここで、
見棄てくれるな。
若い農業勞働の俺等も、
居ることだから。

先輩に

一個人の感情で
運動を害する、それでも
お前は社會主義者か
運動は大きいぞ
偉いぞ、運動の時、
一個人を、主張するな、
自己を、忘れ
自己主張するなら
資本主義者なれ

詩二編

印刷勞働　牧野一郎

●意氣の破產者

憐む可き者
汝の名は
「意氣の破產者」である。
制服制帽の型に押込られて
溌溂な新興階級青年の
意氣を失ひし
官製青年團よ。
薄野呂で
而も强慾な武裝人形よ
その名はボーイスカウイ。
無產者解放の
曙光既に動く秋
奴等ブル妖姿の前に
嬉々として踊る青年よ、
君達の持つ
赤き血汐は凋落したか、
憐む可き意氣の破產者。

●人道主義者に

君、その安價な涙を流す暇に
一枚のビラでも撒くんだ
荊棘の路を拓く人々の
流るゝ血汐を拭ふ「慈悲」なんか
止してくれ……
己は柔かな草の上に佇んで居ながら。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

第三回全國水平社大會

惠須啓

支配階級の餌食となつて幾千年の間、冷酷なる社會より社會外の社會人として取扱はれつゝ今ゝ尙屈辱の鐵鎖から放たれず加ふるに資本主義制度の發達は封建的手工業生產を保持せる六千部落三百萬の特殊部落民を死に導いてゐる。

大正十一年三月三日、この日こそ特殊部落民の歷史的使命に眼醒めて解放戰への第一聲を擧げた日である。

過去二ヶ年間の水平運動は偉大なる成果を納めた。然しながら又大なる犧牲を拂つてゐる。

第三回大會はこうした過去の經驗による今後の運動方針を立てんと全國各水平社の代議員によつて三月三日京都岡崎公會堂に開かれた。

眞つ黑の中に血で染抜かれたる數十の荊冠旗は死かも祖先より受け繼いだ復讐の炎に燃ゆる如く吹き荒む飛雪風に靡いてゐる、

西は九州、東は群馬、埼玉縣外三府三十五縣より馳せ參じた代議員は喜びの挨拶を交しつゝ會場へ繰込み階下の正面に陣取る。階上の傍聽席は開會前既に立錐の餘地すらない。場内は刻々に緊張の度を增て行く。

大會は午前九時泉野利喜藏氏の開會の辭と共にいと嚴粛に開かれた。

群馬の村岡淸五郎氏座長席に就き型の如き順序で昨年大會より一ヶ年間に於ける經過報告、會計報告等あり、最後に左の如き決議を滿場一致可決した。

一、我等に對して穢多及び特殊部落民等の言語によつて侮辱の意志を表示したる時は徹底的の糺彈をなす。

一、東西本願寺に對する募財拒絕の斷行を期し併せて開放の精神を麻痺せしむるが如き一切の敎化運動を排す。

一、政府其他一切の侮辱的改善を拒否して其徹底的廢滅を期す。

次いで役員の推薦を座長に一任し、議長に南梅吉氏、議事進行係、駒井喜作氏が推され議長滿場の拍手裡に登壇、それより各地水平社提出の議案の審議に移る。

▼綱領一部改正の件
委員附託となる。

▼組織變更の件
本部員の名稱廢止說等あり愼重に討議されたる結果委員附託

▼政黨政派に超越するの件
現在のブルジョア諸政黨は部落民解放の上に何等益することなく却て彼等の黨勢擴張の爲めに利用せらるゝ恐れあればこの理由で滿場異議なく可決

▼總選擧に對する件
水平社としては政治的に敎育されてゐないから傍觀的態度を採ることゝなつて可決

▼少年水平社大會開催の件
全國の少年鬪士交々立つて熱辯を振ひ、學校の旅費を大會の費用に滿つることして可決

▼水平社未設地開拓の件
滿場一致可決

▼勞農ロシヤ承認の件
吾々が無産階級の立場から、又勞農ロシヤ內に於ける光明に輝けるユダヤ人の狀態からその他種々の贊成意見あり、議論の餘地なく可決

▼宣傳に關する件
異議なく可決

▼朝鮮の衡平運動と連絡を圖る件
我等と同じく朝鮮內で虐められてゐる白丁の衡平運動を起したことは大いに意義あることゝし、それと連絡を圖り又聲援をなすことは吾が水平社の當然執るべき態度でなければならんとのもとに可決

▼內地に於ける鷄林同胞の差別撤廢運動を聲援するの件
日本內地に於て多くの朝鮮勞働者が亡國的蔑視觀念に基く不合理なる差別對遇を受けつゝあるは我等特殊部落民と同樣であるから一般朝鮮人が自國の白丁を差別しないと云ふことの條件がきまれば聲援はおろか應援してもいゝと滿場異議なく可決

▼婦人水平社の發展を期するの件
九州と大阪の三婦人代議員は交

一般民に呈す

埼玉水平社內 川島生

・所謂る一般民なる者は「水平社員は鼻息が荒い」と言ふう。唯た聞くと、水平社員は路を橫にでも歩るいて居る樣だ。併し考へて見ろ、御立派な一般民よ。

ツイ先日の事だ所は埼玉縣の秩父山に近い或る村に起つた、差別事件―その村は事件の起る前日迄でおかみの木葉役人にダマサレて「俺れの村は水平社の必要がない立派に改善されてゐる」と日頃云つて居たつまり眠つて居たのだ。

水平運動が起つて三年何故、これ迄で自覺しなつたか、不思儀に思へる。それには一譯がある。埼玉縣下各所に演說會が開れた。然るに我れ關せず然たる村が何故に出來たかと云うに、附近に演說會が開かれるビラを散したと聞いて警官―査公が飛んで來て「演說會宣傳ビラが、來たでしう。……あれは水平運動の第一線に立つて居る人達で、社會主義者です。そして……」と、巧に惡宣傳とゴマカシを並べて最後に、行けば貴下の爲にならんと結ぶ未覺者には社會主義が何であるか、解る可きものでない知らないから巡査の言を信じて、甲乙丙丁皆んな申合せて、行かなかつた。彼等は改善された立派な村だと思つてゐた。其の村から埼玉縣水平社本部へ突然二人

々に男性の横暴と部落民賤視の觀念により二重の迫害を蒙りつゝある部落民婦人の悲慘なる立場を訴へ、彼の十字軍に反抗せる猶太婦人の勇ましき行動を讃美して、男子に優る自覺と信念を以て『よき日』のために運動を進めねばならぬと絶叫し、滿場一致可決

▼各地學校に巡回講演を爲すの件　否決

▼軍隊内に於ける差別撤廢に關する件　修正案可決

▼部落内の官製青年團の解散を斷行するの件

現在の官製青年團は實際的な青年の教化を爲すものでなく、たゞ宗教的、反動的修養の强制機關である。吾々はこれを解散せしめ新しき教育機關となさねばならぬとの理由に對し全國水平社青年同盟より官製青年團の内部侵入説を提出したが結果は議論區々に別れ保留となる

▼内務省の改善事業を調査するの件　可決

▼徳川家一門に對し位記返上勸告の件

徳川三百年の階級政策は、吾が特殊部落民を社會のドン底に陥入れ、搾取と迫害に泣かせて來たものである。吾々が徳川一門に反省を促し、速かに不義の榮華も捨て、位記返上を勸告せなければならぬと、今日の貴族階級を攻撃し滿場一致可決

▼社會運動取締法案に反對するの件

水平運動の暴害を爲すものであるから、飽くまでも反對しなければならぬと可決

▼あらゆる無產階級運動と提携するの件

提携を不可とする者、可とするもの及び運動上利害關係の共通なる場合のみ提携せよと云ふもの等意見區々なり、採決に入らんとしたが重大問題の故を以て保留を宣す

▼普選に關する件

議會制策は原則としては否認するものであるが、反對にこれを利用して戰線の一部に加へるも決して無駄ではない。早晩これが實現さるべき運命を持つてる問題である以上、又大衆の多くが之を要望してる際でもあり、吾々は消極的な否定よりも先づ一歩進んで議會利用運動を爲す事が、より實際的な戰術であると説明したが多少反對者あり保留となる。

かくて第三回大會は盛會裡に閉會した終り。

（三月三日京都岡崎公園公開堂に於いて開かれたる全國水平社大會）

來た。理由を聞くと實に驚いた。次日同人成塚政之助君に伴で俺れも行つた。能ゐ縣群馬の同人坂本清作氏他二名が矢張り其の村に應援行のと一緒になつて其村に着いた。一般民は水平社員が來た事に驚いて代表から降伏文書を持つて來た。

會見場所—談判に—となつた時一般村民の方は代表、村長他五名立合警官であつた。要求條件

規　約

一、今後一般民部落民たるを問はず、氏子として平等になすこと

一、合社以來(拾參ヶ年以前)より部落民だけで修理をしてゐた費用(四回分)に對し年六分の銀行利子を附し返金する事

一、區長手當(大正十一年度分)支給せざる分即時支給する事

(但シ年拾貳圓也)

ドウダイ諸君こんな間抜な話が事實あるのだ。

同じ人間同じ村の住民同じ村の神社同じ村の祭典に差別を設るなんていベラボウな話があるものでない。

調べれば類似の問題も少なくないと思ふ見附次第に根コギにする考である。俺等の運動を一歩々進めて行く覺悟であるし進むのが燃てある熱血それで熱情それで吾人の進む途上に障害するものを處分して進む覺悟です諸君の應援を乞い諸君の御健闘と戰線の擴まるを祈る。(終)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人運動

國際婦人デーを迎へて

權藤誠子

「婦人も男子と等しく「人」であらねばならぬ」と叫んで起つた婦人の――婦人解放の――運動を私は決して眞劔でなかつたとは云はない。彼等は世間の批難を正面から受た。又牢獄の苦もなめた。けれども彼等のこの熱烈な運動によつて、贏ち得たものが、婦人の大多數を占て居る私ども無産婦人に、どれほどの幸福をも出來したであらうか？なるほど、ブルジョア階級の婦人にとつては、十八世紀以來續けられて來た其運動も空しくはなかつた。婦人のために大學の門戸が開かれ、男子と同じ學位が授けられるやうになつてから幾歲月を重ねてゐる。殊に大戰後の歐米諸國では、既に多くの婦人代議士が選出せられてゐる。しかし、それ等は私ども無産婦人とは、全く沒交渉と云つてもよい。たとひ大學の門戸は開かれたとて、貧者の娘には何にならう。義務教育も卒へるか卒へないうちから、工場や會社、又は家内の勞働に從事しなければならぬ。まだ、どれほど有益な書物が出版されやうとも、それを求める金は、まづ胃袋を満たすものと代へねばならぬ。粗食して、勞働して、空氣の濁つた陋屋うちに、まどかな眠むりも結びかねてゐる無産婦人にやそれ等の運動は、別の世界の姫君のすさびである。かつて一度も飢餓の味を知らない、また一度も自分の勞力を賃銀に代へて衣食し無法な搾取の下に苦しんだ事のない幸福な人の運動なのである。

一九一七年三月八日

この日こそ私ども無産婦人にとつて、最も記憶すべき、又も祝福すべき日であつた。

この日は、隣邦ロシアに於て無産婦人のデモンストレーションがあつた。

これまで、長い星箱宗教と云ひ教育と云ふ美しい名の麗睡劑を嗅がされて、屈辱と忍從のうちに生て來た婦人の一群が專制政治と資本主義とに反抗して、猛然と儼起した日なのである。

これが一大狼火となつて、世界無比の專制國たるロシアに華々しく革命が起つた。そして其年の十一月には純然たるプロレタリア獨裁の政府が樹立された。

「社會主義は空想にして到底實現し能きもの……」と我國の權威ある某博士は、其經濟原論に書いてゐる。けれども海の彼方のロシアには其「空想にして實現し難き」社會主義の政府が出來た。

最早其處には搾取もなく被搾取もない、壓制もなく窮乏もない「働かざれば食ふべからず」で、彼等は失業の不安もなく唯働いて居る。教育に道德の標準に何等男女の差別はなく勞働婦人は勞働男子と提携して、同じこの幸福に浸つて居る。

私どもは既に、この三月八日を七度送り迎へて來た。到底實現し難しと見られ、又數ケ月にして倒れると云はれた勞農露國は月を重ね年を經るほど、益々其基礎を固うして來た。而して無産婦人の問題を無産婦人自身の手にて解決すべく儼起した婦人の運動は唯婦人の幸福だけに止まらないで全露無産階級の勝利とさへ早めたのである。

七週年のこの紀念日に世界の識勞を見逃すと、何たる大變化であろう？マルクスの學説が初て實施した新しい國家に對して到底ありわざる謬說と中傷を試みブルジョア新聞の通信を、多數の人が信じて讀んだのも、もう過去となつた。こゝ一二年問題になつて來た露國承認は既に英國を――勞働黨が保守黨にかはつて内閣を組織した――先鋒として伊太利、最近この東洋の支那にさへ事實となつて現はれて來た今や其他何れの國々に於ても、露國の承認は可否の問題でなく時期の問題となつてゐる。

私どもは又、最近に於ける英國の政變にも注意しなければならぬ。それはたとひ、ボルセヴイズムではないにしろ、保守的の色彩が豐かであつた英國に於て、勞働黨の内閣が組織せられたことは、すくなくも、無産者の勝利に一歩近づいて來た事を證するものである。殊に其内閣には男子と並んで婦人の次官を出して居る事を見逃してはならない。

而して、私どもは、我自らの國をふりかへる時、實に長嘆息を禁じ得ないのである。未だに封建時代の夢がさめきれない事に於て、問題にもならぬ些事を大騒ぎする事に於て、言論の自由を缺いでゐる事に於て、眞に「世界無比の君子國」である。極東の日の出る國は、海一重彼方の國よりも萬事遙にあとにあるが、婦人運動は一層遠く後れて居る。婦人の演説も珍らしい、婦人の學士も稀である。私どもと別の世界ではあるが、かの婦人解放運動や、宗教的な廢娼運動すら非常に進んだ、珍らしいものと見なされてゐる。

おくれながら、普選も物になりさうである。やがては有力な勞働黨も組織されやう、其曉には無産婦人の運動にも光明が添ふであろう遲々としては居るが、斯く歷史の必然は、私どもの勝利を少しづゝ近づきつゝある。私どもは熱心と深慮を以て其時に備へねばならぬ。戰ふべき力を養はねばならぬ。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人と社會運動

──國際婦人デーを迎へて──

港はな子

一

「國際婦人デー」とは、どんな意義を有してゐるか？それは既に皆さんが御存じである事と思ひます。

丁度今から七年前、即ち一九一七年の三月八日、社會の暗黒のドン底──然も最も下積になつてゐたロシアの無産婦人が、勇敢な大示威運動を行つた、其事が導火線となつて、やがてロシアに於ける全無産階級が光明の世界に躍り出で「勞農ロシア」といふ無産階級の國家が建設されたといふ事を、今年もまた新しく繰返して、ロシアの無産婦人はいふに及ばず、全無産階級が祝福してゐる事だらう。

彼の尊敬すべき、同志ローザ・ルクセンブルク及びリープクネヒトを出した獨逸では、八日から十五日までの「婦人週間」と「婦人デー」とを同様に意義あらしめる爲め、深い眠りに落ちて居る無産婦人に、階級意識を呼び醒ますべく、演説會が婦人のみの手に依つて開催され、赤い、虹のやうな氣焔を上げて居る事であらう。

街頭に於ては、大示威運動が行はれてゐる事であらうし、そして無産階級のあらゆる機關紙は無産婦人の爲に、前例にならつて其紙面をさき、各村落に於ては、其れぞれ種々の會合が催されて居る事だらう。

二

然るに日本に於ては儒教や佛教の桎梏に依つて、全部の女が人間線以下にほうり込まれて居るではありませんか「女と小人は養ひ難し」とか「女は罪業の深いものだから……」或は「女のみが貞操を守るべきものだ」といふやうな具合に、此日本を遂に男のみのものとしてしまつたのであります。斯うした現實の問題を見せつけられてゐるにも拘はず、まだ女──ここに私共無産婦人が深い眠りに落ちて居ることが出來ませうか？工場に於ても家庭に於ても、いふはば私共無産婦人は、資本主義制度の下に二重の搾取を受けてゐるのです。それにも拘らず無産婦人の運動がはかばかしく進まないといふ事を悲しく思ひます。

昨年、即ち一九二三年三月東京で、プロレタリヤの文藝雑誌「種蒔く人」の同人の後援に依つて、第一回「國際婦人デー」が行はれました。雑誌「種蒔く人」は其三月號を無産婦人號としました。

斯うした準備をして行はれた日本で最初の「國際婦人デー」も彼等反動團體たる赤化防止團の奴等の防害に依つて、開會後間もなく解散の浮き目を見たのでありました。たゞ其筋の高壓的壓迫によつて、開會間際に入場料を差止められ、主催側は多大の損害を蒙り、續いて京都、大阪の二ケ所に開催の豫定であつたのも、中止するの止むなきにいたのであります。もつとも其の筋の斯うした手段を、當局では最初から準備して居たのだといふ事を、私共無産婦人はハツキリいつ迄でも記憶せねばなりません。

三

さて今年は斯うした前年の經驗から、どんな手段や方針をとるべきかは、私一人でなく、多少でも階級意識に目醒めた無産婦人──ブルヂョア婦人の觀念遊戯ではなく──の誰しも考へた事でせう。然るに三月八日即ち「國際婦人デー」に對する何等の企てもなく、表面に現はれた運動の何ものもなく、一般の無階級の婦人が、安々としてまだ深い眠りから醒めない樣な狀態を續けて居るといふ事は、一體何んな理由によるのでせう。

それは昨年九月に於ける日本の歴史あつて以來の大震災に基くのであります──人々の住むべき家は瞬間に破壞され、十幾萬の人間が無殘に殺され、百億といふ富が煙になつたのであります。そして私共の同志の中でも、或は死に、或は殺され、萬一生き殘つた者でも、皆んな一樣にやつと其の命を拾つたに過ぎないような有樣でした。斯うした出來事、斯うした生きた事實は、私共によい經驗と訓練とを與へました。

即ち運動者に對する一般の無理解から──此無理解は第一線に起つてゐる同志が、あまりにも民衆から前進しすぎた事にもとづくので、そこへ其筋の宣傳が効を奏したものであります。だから社會主義者或は共産主義者と見たなら、すぐ獵人が獲物をみつけ出した樣に打ち殺すのと同じ方法で、其生命を奪つたのであります。不幸にして私共を一般民衆が、國賊か何かのように思ふ程、民衆とかけはなれて前進しすぎて居た事に氣が付いたのであります。

四

だから斯うした狀態のまゝでは、頭から共産主義、社會主義を振りかざし「國際婦人デー」を説き「無産青年デー」を説き階級闘爭を説いたところで効のないのみか、たゞいたづらに一般民衆の誤解を強める以外に何ものもない事をハッキリ知らねばなりません。故に私共は機會ある毎に民衆の中へ、深くしかも根強く喰ひ込んで、一歩づゝ確實に無産階級の社會へ近づいて行かねばなりません。そして私共無産婦人は「赤旗」の持主であるといふ事を忘れずに……。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

米國モンロー主義の眞相（上）

片山潜

（一）

米國は輿論の國であるから、その帝國主義が力と支配を得るためには、どうしても民衆化されなければならない。米國人特にその知識階級はいかにも堂々たる調子で昂然として、米國及び米國人は軍國的でなく、熱烈なる平和愛好の國民である。その行つた戰爭は自由と人道のための戰爭であつたと云ふを常とする。獨立戰爭、南北戰爭及び米西戰爭に於て、彼等は常に如上の說明を與へた。然し乍ら米國はその代表者が壇上から世界に向つて揚言するほど、潔く立派な若い平和愛好國民ではない。帝國主義なる云葉が近代の意味に使用されるずつと以前に、米國は既に帝國主義政策を執つたのである。見よ。過去に於て米國は如何に多くの戰爭をなしたを！ 德富氏は米國の交戰表を揭げて居る。

▲英米戰爭、一八一二年八月から一八一五年三月迄、二年八ヶ月。

▲第一フロリダ戰爭、一八一七年十一月から一八一八年五月迄六ヶ月。

▲ブラック、ホーク戰爭、一八三二年三月から一八三二年八月迄、五ヶ月。

▲第二フロリダ戰爭、一八三五年十二月から一八四二年八月迄、六年八ヶ月。

▲メキシコ戰爭、一八四六年一月から一八四八年二月迄、二年一ヶ月。

▲南北戰爭、一八六一年二月から一八六五年五月迄、四年三ヶ月。

▲米西戰爭、一八九八年四月から一八九八年七月迄、三ヶ月。

▲比律賓戰爭、一八九九年二月から一九〇一年八月迄、三年一ヶ月。

▲喇匪戰爭、一九〇〇年六月から一九〇〇年八月迄、二ヶ月

▲メキシコ侵略、一九一六年三月から一九一七年二月迄、一ヶ年。

▲歐洲戰爭、一九一七年四月から一九一八年十一月迄、一年七ヶ月。

（二）

德富氏はそれに就いて次の如く論じた。「右によつて示されてゐる通り、米國は百十ヶ年間に十一回の戰爭を爲した。卽ち十年間に一回の割で交戰し、總計二十年八ヶ月、一世紀の五分の一以上を戰爭に從事した。然し吾人は未だ早急に、米國は本來好戰國であるその國民は戰爭の愛好者であると結論しやうと思はない。さは言へ米國を世界の唯一の平和愛好、自由愛好の國であると誇る米國人があるならば、その言の眞僞を歷史に求めよと勸告せざるを得ない。」

輿論の支持を受けた米國の帝國主義は、中央亞米利加諸共和國に羽翼を伸ばし、南亞米利加諸共和國に着々勢力を擴げてゐる米國はその飽なき帝國主義慾を世界の面前に隱蔽せんがために「モンロー主義」といふ得手勝手な都合のよい標語を發明したが、今日それは帝國主義の覆ひ物として使用されてゐる、米國は怜悧にも此標語を揭げ、過去の幾多の戰爭には、他國の內亂を鎭定することを口實にして。而も是等の內亂は往々米國人又は米國の××によつて起されたもので、彼等は或る一黨一派を援助して內亂を起こさしめ、時局をして拾收す可らざるまでに紛糾させ、米國の干涉と事實上の征服の基礎を造つたのである！

米西戰爭の遣り口がそれである。米國は玖馬に干涉する適當の口實を見出すことが出來ないので、戰艦メーン號を同國に派遣した。然し玖馬は毫も米國に敵意を持つてゐなかつた。どうしても干涉するの機會のないのを見るや、メーン號はハバナ港に於いて或る奇怪な陰謀で爆沈された。メーン號の秘密を蔽はんが爲めに、同艦の艦長シグスビーは本國に急電し、公平の判明するまで判斷を差控へんことを求めたが、米國の輿論特に帝國主義の機關たる諸新聞紙は、西班牙のメーン號爆沈陰謀を膺懲するため、戰端を開かんことを絶叫した。米西戰爭の開戰理由に關し、私は何故にかく斷言するか？

それは數年前米國がメーン號の引揚を拒絶し、海底に於て爆破せんことを命じた事實があるからである。若メーン號が玖馬人又は西班牙人の陰謀で爆沈されたものならば、同艦を引揚げて果して米國の主張する如き外部的原因に依るものか否かを決定することに何故反對しなければならぬか？ 然るに事實米國は引揚げに反對し、爆破を命じ、米西戰爭の理由の眞相を永久に湮滅したのである。それは別に不思議でも何でももない。

（三）

帝國主義は常に人道に反することをする。最近暴露された英國海軍省の大陰謀もそれである英國軍事當局は汽船ルシタニア

號！獨逸の潜航艇に襲はれる可能性、否、寧ろ確實性をよく知りぬいてゐて、

故意に同號易々ご獨逸潜航艇の餌食にしたのである。この事實が新聞紙上に發露されたに拘はらず、狡猾なる英米政治家は巧にそれを默殺し、事實を抹殺したのである！　要するに帝國主義の前には、

人道も無く道德もなく、たゞその野望の遂行あるのみである。かの有名なる「尼港事件」は、日本の軍閥が樺太駐兵を繼續せんが爲めに利用されたが、元々露西亞から賠償を要求せんが爲めの口實こして傳へられたものに過ない。

米國の帝國主義並に英國の帝國主義は、羅馬のそれや亞歷山大帝のそれよりは一層惡質である何ごなれば、米國の帝國主義が比律賓人に對して人種差別――憎惡さへ設けた如く、白人の帝國主義には、人種的偏見、人種的憎惡が伴ふからである。米國人は比律賓人を劣法人種ご見做して虐使してゐる。

米國人は自己を優超人種ご思惟し　有色人種を支配する權利があるご思つてゐる。更に英國の帝國主義は高き障壁を築いて勢力範圍を拵へ、そこを白人の國又は白人の土地であるご主張し、一切の有色人種を排斥してゐる。米國は黑人の自由のために戰つたが、現在では躊躇こして使用し、米國獨特の政策私刑によつて黑人を支配してゐる。

（四）

英國帝國主義の大立物セシルローズは白人の世界支配を工夫した。

ローズはアフリカに於て黑人の搾取に成功した。この一つの經驗によつて彼は有名な世界の白人支配策を樹立し、この思想を宣傳する爲めに牛津大學にローズ獎學金を設けた。ローズ主張の有力な贊成者の一人はバーナードショウで彼れは日本人始め有色人種は、特殊な臭氣を持つてをり、白人こは到底同化せず、隨つて同盟を結ぶことは出來ないご述べた。これが米國の排日運動に彼れの贊成する主なる理由で、この有名な有色人種の臭氣說は、ハースト系六大新聞を通じて、一九一五年全世界に初めて紹介された。

米國帝國主義のこの貪婪性は事實如何に現れてゐる。かつて米國のメキシコ支配は長き歷史を有し、徐々に隣國の富を蠶食し、利權を爭取した。過去に於て米國がメキシコ人をテキサスから驅逐したことは前述の通りである次いで米國は、アリゾナ、ニユー、メキシコ、カリフオルニアを奪取し、今やメキシコ全部を併合せんこしてゐる。（未完）

（三頁より）

【六】

吾等は、ユダヤ解放運動に於ける、昔日のトロツキーの態度を思ひ浮べたくなる。一九〇七年であつた。彼トロツキーはベルリンに於て開催されたユダヤ民族大會に望んで、「ユダヤ運動は一つの、確かなる反動的運動である。吾等ユダヤ民族が完き解放は、プロレタリアートの解放の決行された時に於てのみ實現さるゝ。それはプロレタリアートのインターナショナリズムの運動に依らずしては、その豫期の効果は求めがたい」こ絶叫して、その大會を脫會したことを吾が水平運動の將來こ對照する時は、非常の暗示を吾等は與へらるゝのではないか（二月廿日）

ロシア勞働組合に於ける婦人の位置

ストラッサー

【一】

西歐諸國の勞働組合に於いては、まだ「婦人問題」がやかましく論ぜられてゐるが、その意味での「婦人問題」なる提案は、ロシア勞働組合に於て、一度もあつたことはない。階級意識の強い社會主義の指導者のもこにあるロシアの勞働組合は、その初期から組合運動の婦人に對する態度は、西歐の、卽ちイギリス、フランス或ひはドイツの勞働運動家の、それこは全く趣を異にしてあつた。

然し、勿論、彼等の主張や主義が事實に表し得る途が切り開かれたのはプロレタリアートが政權を獲得した後のことである。

現今のロシア婦人勞働者は、總ての點に付いて、男子勞働者こ同一である。卽ち同じ仕事に從事してゐる、男女は同一の賃銀を受けてゐる。

【二】

然しながら、斯くの如くであるにも拘らず、一般的に、婦人勞働者の大衆は男子勞働者よりはるかに低き賃銀を受けしゐる。その理由は私等が職業上の分業に基いて吟味するならば、すぐ了解が出來る。例へば、ロシアの鐵業工場に從事してゐる婦人勞働者の六十五パーセントは不熟練勞働者であつて、最下の級に入れられてゐる。そして熟練勞働者こして、良き賃銀を受けてゐる者は只の十三パーセントに過ぎない。木材工場に付いて見るならば、七十四パーセントは不熟練工であつて、他の殘りの半分は、半熟練工の割合である。紡績工場に於てのみは、殆ども好良なる割合を示してゐる。

【三】

事實上は、以上の如きであるが、ロシヤの勞働組合はこれを決して、救濟の不可能のものこは思ふてゐない。であるからロシア勞働組合の目下の大問題の一つは「ロシアの産業をもつこ高級へ引き上ぐるために不熟練勞働者こしての婦人勞働者の位置を、いかに援助すべきか」で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ある。

特に最近開かれた、鐵工勞働の大會には、工場支配人や、會社側の專門家を招いて、失業者救濟問題と結び付けて、この諸題に論及したのである。

「なぜに婦人勞働者に失業者が多いのか」と云ふ題で論ぜられてあつた。それは「婦人勞働者は割合に不熟練勞働者が多いからである」の一句で說明せられてゐる。

【四】

產業に於ける男女勞働者の差違及び熟練と不熟練勞働者との差別は、資本主義から必然に生ずる、こころの根深い懸隔であつて、一朝一夕に醫することは出來ない。勞農ロシア共和國に於いてすらも、多くの爭闘と時間を經た後に、初めて、その差別が廢し得る時代に到るであらう。こゝに述ぶる必要もないが勞働ロシア共和國の現今でも、婦人勞働者は勞働組合の仕事に盡力してゐるも割合に少いのである。でも西歐の諸國の婦人勞働者より以上に組合運動に活動してゐることは明かである。

そして、最近の統計に基いて見ると、ロシアの婦人勞働者の數育程度は非常なる加速度で向上しドイツ、オーストリアの勞働婦人のそれより上に置かれてゐるのである。」

最近フランスの勞働運動

オリバー

（一）

フランスのプロレタリアートが最近の陰萎狀態に落入つた主な理由はプロレタリアートの經濟的組織團體の基礎の虛弱に依ると云ふてよい。それは二つの敵意ある陣營に分裂して、互に相讓ることなく、執拗してゐるのである。

今より四年前、丁度一九二〇年の初めに於いてはC、G、Tは優に二百五十萬の組合員を擁してゐたのであるが、目下ではC、G、TとC、G、T、U（合同總同盟會）との二つの會員を合算して、やつと七十萬に足るかどうかの程なのである。この數字で見ると、今もし、フランスの全プロレタリアートの數字を九百萬と假定するならば、勞働組合に加入してゐる勞働者は一四人に一人位の割にしか當つてゐない。この事實はフランスのプロレタリアートが現在に於いては如何に虛弱であるかゞうかゞい知る事が出來る。然るに、フランスのブルジュアジーは總ての常備軍と國家行政の凡ての機關を持して、完全に組織せられてゐるのである。

社會黨並に共產黨ばかりでなく、勞働組合もフランスプロレタリアートに精神的感化を與へてゐると云ふ立證になる場合は甚だ稀である。資本家階級或は政府當局が、あまりに反動的の政策を採り、勞働階級の利益を無視した場合などには、相當勞働者は激さるゝが、再その危機の退くや、彼は政治的にも、經濟的の問題にも、たゞちに極めて冷淡の態度に逆轉するのである。

此受身的の態度がフランスの階級爭闘の發達に非常なる障害となつてゐる。であるから、フランスのプロレタリアートの革命團體である共產黨は勿論のこと、C、G、T、Uは、階級意識を全勞働階級にもつと徹底せしむることに依つて、共同戰線の實を擧ぐるために、彼等は全力を盡してゐる。

（二）

フランスのコンミニストは、共產黨國際同盟の第四回大會の決議に基いて、C、G、T、UとC、G、Tの協合を主張してゐる。然しながら、此頃まではC、G、T、Uは實際上アナキストの分子に左右されてあつたので、この希望の實現も理論的形式以上には進みかねてゐたのであつた。

斯くの如き環境のもとにあつて、革命的のC、G、T、Uは改良主義のC、G、T、に對して思ひ切つた方向轉換の態度を示して來た。最近のC、G、T、Uの大會に於て、C、G、T、Uの一執行委員は、その代表として次の二項に涉る提案をつき出したのである。

（一）フランスに於ける勞働組合の合同を復活せしめること

（二）フランス帝國主義に對する共同戰線を採ること

この提案にもとづいて、非常の激論が演ぜられたが、改良主義を標榜するC、G、Tの首領等—特にジユオーなどは、その主意には贊成するが「舊いC、G、Tに加入する型式を採つて…………」と云ふ主張で遂に大會は「總てのフランス勞働組合はC、G、Tに加入すべし」と決議した。とにかく改良論者の、C、G、Tの領袖等はフランスプロレタリアートの緊急の要務である組合の合同を防止せんと努めてゐる

だが第二の提案は滿場一致でルール地方に於けるフランス帝國主義に對抗すべく協同の戰線をはることには決定された。

以上に述べた如く、フランスの改良主義の勞働運動者であるC、G、Tの首領等は、フランスのプロレタリアートが陰萎狀態にあつて勞働運動の進步が步一步遲れつゝあるを、よく知りつゝも彼等の勢力が合同することに依つて、他に移ることを怖れつゝ斯くの如き態度に出でつゝあるのである。

だが組合の合同は再び論ぜられて、近い將來には必ずや具體的に成就さるゝものである。その氣運は充分に熟してゐる。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

經濟問題

資源より見た日本經濟の位地

高橋龜吉

一國の經濟的發達が、未だ近代科學に基礎を置かなかつた時代に於ては、氣候、地勢の如何は、其の國の經濟的繁榮を支配する決定的分子であつた。併し乍ら、一國經濟の發達から益々科學の進歩如何に依存するに至るや、自然的要素よりも、科學的智識と技術とが、一國の經濟的繁榮を支配するは大なる決定力なるかの如き觀を呈するこゝなつた。

例へば英國にも日本にも棉花は産せぬ。併し乍ら、之をより有利に紡績し得る科學的智識と技術とがあることにより、原科棉花を輸入して、紡績業を發達せしめた如きである。就中、獨逸に於ける化學工業の發達は、科學全能の經濟的發達觀を更に擴く普及せしめたのであつた。然して斯樣な考へ方の基礎をなす事實は、到る處の資源が安價に且つ自由に欲する處に輸送し得らる、と謂ふ事實にあつた。(最近この自由は政治的力で著しく阻められつゝあるに至つたが)

工業時代と自然

謂ふ迄もなく、斯かる事實を背景として發達し得る經濟は工業である。農業は其の國土から一歩も離れることは、出來ない。されば、例へば我が國の農業又は牧畜が、米國の如く、濠洲の如く發達すべしと考へる者は殆どないが、併し乍ら工業については、吾々の努力一つで、無條件に日本も亦英國の如く繁榮し得ると漫然考へるものが尠くない。

工業の國內發展と自然

併し乍ら、一國工業の發達は或る程度以上は、主として其の國の資源の如何にかゝるものである。或る程度以上には、大體に、其の國の工業の發達が、國內相手に於て飽和點に達し、更に發展せんがためには、新に外國を相手にせねばならなくなつた。境界を意味する。國內相手の工業の發達は假令資源に於て缺くる處があるも或ひは輸入税の保護により、或ひは運賃其の他の障壁によつて、外國品と對抗し得るからである。

例へば、米國に於ては生絲の産出は一梱もないが、併し、生絲の輸入關税を無税になし、絹布のそれを五割以上に課すことによつて　米國内地に絹布工業を繁榮せしめてゐるが如きである。我が毛織業、綿絲紡績業、製糖業、銅鑛業、石油業等も右の一例と目し得べきものである。

最近に於ける我國の工業的發達、支那に於ける最近の工業的發展、伊太利、スペイン等に見る過去の工業的發達等、何れも皆　此の種の工業的發展に過ぎない。

さりながら、一國の工業が、新に外國相手に發展せねばならなくなると、事情一變して來る。

工業の海外發展と自然

これ迄、一國の資源の缺點を補充し保護し來た、方法——運賃、保護、關税等——は最早や無効に歸するのみに止まらず、進んでは、逆に輸出運賃、外國の輸入關税等の負擔を特に荷はねばならなくなる。されば一國の工業が海外發展をなし得るには此の負擔を荷ひて尚ほ、外國市場に發展し得る有利なる事情を必要とするに至る譯である。其の主なるものは卽ち一國の資源の如何にある。

主要資源と一國の産業

茲に一口に資源と謂ふも、就中一國の繁榮に重大關係あるは鐵、石炭の如き基礎的資源である。例へば、石炭に不足する國又は産出しても生産費が他國に數倍高い國(日本の石炭は米國の石炭より二三倍高い)に於て假令如何なる工業を起すにしても、その燃料が高く付くから事業引き合はなくなる。又假に、自國に資源があるにしても、石炭がなければ、石炭のある國に原料を送つて製造する方が有利となる。更に石炭が安ければ、船舶は此處で燃料を仕入れるを有利とするから、自然に運輸の衝路となり、此の方面からも商工業が盛んにする。英國が、仲繼貿易國として、發達する根因の一は茲にある。

更に、鐵の有無は直に鐵工業の存亡を決すると云ふだけで、已に一國の繁榮に重大關係がある。蓋し、鐵工業は今日の産業中、最も廣汎な最も重要な部門であるからである。のみでない。鐵工業が自國に繁榮するとは其他有らゆる工業の位地に重大關係がある。それの如何によつて、機械其他の工場設備費に高低を生じ、外國との競爭力に至

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大な關係を有するからである。

誠に我が國の中心産業たる綿絲紡績について見るに、米國商務官グラハム・クラーク氏の歐洲戰前に於ける調査によると、一錘當りの建設費は、英國七弗九十一仙、米國十一弗、獨逸十三弗なるに對し日本は實に二十五弗あつた。英國の三倍米國の二倍である。從つて、英國が假へば一割の配當なすためには、一錘當り一圓の利益を得ればよい場合に日本は三圓餘の利益を得なくては同じ配當が出來ない。即ちそれだけ生産費が高くなるわけで、外國との競爭がそれだけ阻まれる事になるのである

資源と各國の盛衰の實際

轉じて、一國の繁榮の如何と一國の資源との關係を各國の實際について見るに、例へば伊太利、ポルトガル、スペイン等の先進國が、或る程度以上の經濟的發達を得ない根因は、其の國に有利な資源がないからである之れに反し、英國、獨逸、米國等が、益々經濟的に發展して、（最も獨逸は政治的原因で蹉跌してゐるが）世界を雄飛してゐる主因は、此れ等の國が、近代産業の基本的原料たる鐵と石炭との資源に最もよく惠まれてゐるからだ。

等しく一流先進國として、併進し來つた佛蘭西が、經濟的繁榮に於て著しく、英、米、獨に後るゝに至つた譯も鐵と石炭との資源にとぼしかゝつた事である。

最近、燃料としての石炭の重大位地が、石油によつて、もつて代へられんとするに至るや、英、米、佛、獨の間に、世界の油源の利權獲得競爭が熾烈となり之を中心にして、將來の大戰爭があるべきを憂ふるもの續出するに至れるが如きも、要するに、基本資源と、一國の繁榮とが以上の如く密接な關係を有するからである。若も識者によつて、豫言されてゐるが如く將來に於ける産業の中心が、鐵工業より化學工業に移るものと假定せば、將來に於ける、産業發展の覇者は、化學工業の基礎原料たる、苛性加里・鹽等の資源に最もよく惠まれたる、國なりと謂ねばならない。併しながら日本は何れの資源に於ても最も惠まれて居らない。

資源貧弱の將來

然らば資源の惠まれない國々の經濟は、國内相手の工業發達が飽和點に達したる後、如何なる成行を示すかと云ふに、先進國の例によれば、大體に行途は二つある。

（一）は、伊太利の如く國内の産業は略現狀維持に止め、年々増加して行く人口を仕末するためには、ドシ／＼移民を國外に送り出す他はないのである。例へば伊太利は一千七六年には約十一萬人の移民を出した、に過ぎなんだが、其後産業發展の行詰るに及び段々増加して、一九〇〇年頃には、七十八萬八千人に達した。而して、一九〇九年乃至一九一三年に至る五ヶ年平均移民數は一ヶ年六十七萬九千人にして、伊太利の全人口約三千六百餘萬人に對し實に約二パーセントを算したのである。

（二）は佛蘭西の如く、産兒制限によつて、人口の増加を防ぐと共に、其工業を國民精巧なる技術を主として保存する事業に集中し以て資源の束縛を出來るだけ脱することである。

之れ佛國の産業が贅澤品、美術品に發展する主因の一つである。併し乍ら何れにしても、辛うじて一國の經濟現狀を維持してゐるに過ぎない。

日本の資源と將來

日本の如く、資源なくして、しかも新に海外を相手の經濟發展によるの外繁榮の途なき經濟事情にある國民は、殊に、以上の如き、先進行詰國の先例を研究するの要があるのである。

然して後、果して、右の外に行途なしとせば、歐洲戰時の活況を絶頂として、今後の發展は閉ざされるものと謂はねばならない。

其の曉に於ては、之を開き得る途は最早主として、國民の經濟的努力にあるのではなくして、國民の政治的聰明に主として俟たねばならないのである。

茲に國民の政治的聰明とは、具體的に謂へば、其の社會組織、經濟組織、國際關係等を如何に改善し得るかである。

（最近東京三德社より發行さるべき拙著『經濟學者の實際組織』の一節より）

社告

一金四圓十錢也

右の金額朝鮮の同志諸君から次の手紙を添へて本社に托して來ました。

朝鮮の同志諸兄に紙上を以つて厚く御禮申上げます

三月二十五日

進め社

拜啓　貴社の御發展と各位の御健康を祈ります。

さて去る一月中旬慶南晋州に於て開かれたる慶南勞働運動者懇親會並びに南鮮勞農同盟發起總會に於いて、客年九月東京震災の際亀戸に於て○殺せられたる、日本同志九名の遺族に對する弔慰並に同時に虐○されたる。朝鮮勞働者の調査費用として、現場に於て、現金六圓十九錢を集め尚釜山勞働同盟會より同樣な意味に於て、金二圓を集め計金八圓十九錢也を、二分し殘り半額は、東京朝鮮勞働同盟會に托し以上の目的にて處分方を御願い致しますから適當御處理の樣御願申上ます

二月二九日

右代理　金鐘範

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

闘はんとする青年に與ふ

福田狂二

社會運動は學問でない

社會運動は戰爭である。學問でなく力である。大衆が合理的な社會に歩む力である。無產階級が資本主義を破壞する戰ひである。

よし「資本論」を讀まざるとも現代社會制度の不合理なる事を知つて無產階級自らの社會に進まんと力戰するものは、立派な社會主義者である。

私はマルクスの資本論を讀まなくていゝとは云はぬ。これを研究して戰ひの理論的根據を持つは社會運動を意識的ならしむるものと思ふ。眞に資本論を解し得るものは、日本に於ても十指を舉げることが出來ぬ。大學教授にして尚ほ解し得ざるものもある。

知名の社會主義者にして未だ讀まざる者もある。有名なる資本論は難かしい事に於ても有名であつて　到底無產階級全體が解する事は至難の業である。

其大體の理論を知らんと欲せば「資本論解說」や「資本主義のからくり」で充分である。

故に私は資本論を讀まざるとも階級意識に目醒め、資本家の支配に反抗の精神が燃えつゝある人を、社會主義者とし、同志として衷心より敬慕するものである。

資本論を讀み研究しつゝ、常に難かしい理屈を並べ乍ら、社會運動と何等の交涉なき、多くの自稱社會主義者を見る。其の「智識」の深き驚くに堪へたりと雖も、社會運動に何等の價値がない。社會運動は遊戯でない。無產階級が、生きんとする戰ひである。

私は此書齋の社會主義學徒を尊敬するが、〇〇への進行は書齋の學理でなくて、熱烈火の如き階級意識である大衆が新社會へ突貫する組織の力であると思ふ

勇敢なれ

私は日本の社會主義者に「死しても止まず」と云ふ勇敢なる精神と氣慨の乏しきを憂ふ。又團結心の微弱なるを嘆く。故に社會運動の遲々として進まざりしを知る。これまでの運動は發達の階段として、遊戯的氣分が多かつた。しかし時代は急轉直下した。これからは眞劍である。私は田園地方に勇敢な、眞劍な、熱烈な鬪士の多いのを見て喜ぶ。この眞面目な同志こそ、やがて新社會を建設する力の人である。

社會主義は專有物でない

昔、平維盛曰く「平氏に非ざるものは人にして人に非ず」と八百年をへだる今日、しかも解放運動の前衞たらんと志す者の中、閥を作つて排他的態度をとるものあるを聞く。寔に潜越至極の沙汰と謂ふべし。

社會主義は現在少數社會主義者の占有物でない。大多數人類を解放すべき、無產階級共有の大原理である。

組織は運動の原動力である。組織の無い所に力はない。しかし閥を作るは運動を鈍らし、運動を分裂せしむ。吾等の運動は無產階級解放の運動である。味方に對しては公明正大でなければならぬ公平無私であらねばならぬ。

私は閥を破つて初めて日本の社會主義運動が潑剌たる生命に生くる事を信じて疑はぬ。

閥を破れ

日本の社會運動の進まなかつた大なる原因は閥を作つて蝸牛角上の爭ひを事とせしに依る。徒らに指導者を氣取り、揚げ足を取合ひ議論と喧嘩と繩張爭ひに、日も是れ足らざる憐むべき狀態がなかつたと一人も斷言出來ない。しかして團結なく統一なく、敵の乘ずる處となるのは私の最も怖るゝ處である。

私はこれ迄內輪喧嘩をした爲め、革命的精神を鈍らし、爲めに逃避し、或は節操を賣つた多くの實例を見て居る。亦地方から出た素質のいゝ青年を徒らに排斥して去らしめた多くの例を知つて居る。閥と內輪喧嘩は社會運動に禁物である。

野心家たる勿れ

社會主義者は高潔なる精神の所有者であらねばならぬ、決して、利己的野心があつてはならぬ、未來の大臣たらんと欲する如きは卑しむ事とし排斥せねばならぬ。

斯かる虛榮心ある者は、未だ社會主義の何物たるかを知らざる者と謂ふべし。かくの如き者は常に閥を作り、社會運動を阻害する者である。一時の功名心に驅られて、社會運動に投ずる者は常に斯くの如き陋劣なる野心を有す。嗚呼、斯の如き野心家に煽動せらるゝ無產階級の運命や眞に恐る可きものである。

かのケレンスキーを見よ。露國一億の民衆を誤らんとしたのは憎むべき事であつた。幸ひにレニン氏等出て革命の方向を指示したればこそ今日ロシヤの大建設が行はれつゝあるのである。

吾等は常に椽の下の力持ちで滿足しなければならぬ。決して首領や指導者たらんと夢にも考へてはならぬ。

古人は曰つた「晨に道を聞き夕に死すとも可なり」と、吾等も此信念で行かねばならぬ「社會主義てふ宇宙の大眞理をの實現を明したからは何日死んでも恨みなし」と云ふ覺悟がなければならぬ。吾々社會主義者は此覺悟と此決心を持つて社會運動に從はねばならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

創作 新聞紙

小川未明

Kは、毎朝、仕事場へ行く前に、その日の新聞を手に取り上げて見るのが、例となつてゐた。汽車が走つてゐる。電車が動いてゐる。そして、みんなが働いて、生活をつゞけてゐる。けれど、かうして、新聞を讀まなかつたら、この會社に、いまどんなことが起つてゐるかといふことも分らないのだ。

見たところでは、この世の中は、平和であるらしいやうだ。何事も起つては、ゐないやうに思はれる。みんなは、不平なくこれが運命だと思つて、たとへ不條理と思はれるやうなことが自分達の頭の上に、降りかゝつてきても疑はないやうにさへ思はれる。

それどころでない。かうしてお互ひに、人間同志の生活の有樣といふことを、知り合ふことがができなかつたら、恐らく、正義といふことも、また、眞理といふことも、討究することなくにしまふだらう。

彼は、社會のために、正義のために、いまさらながら、新聞といふ、報導機關の存在の必要を知つたのであつた。

煙草を燻らしながら、新聞紙を開いて、しばらく、あちこちらに眼を晒してゐた。

社會面は、生活の各方面にわたる大小の記事で埋められてゐた。たとへば、近く、某鐵工場で馘首が行はれるだらうとか、昨夜、某所で、婦人參政權の演説があつたとか、また停電のため、三十分間電車が動かなかつたので、通行客が難儀をしたとかいふやうなことであつた。それ等は、いま眼にはいつて、恐らく、次の瞬間には、彼の頭から忘れられて行くやうな、たゞ眼にとまつた、その時だけ、何等かの感じをそゝつたに過ぎなかつたが、ある官立學校に、十五年も勤務した、一外國教師に一片の通知狀で、學校から斷つたことに對して、その人が、涙を流しながら、あまりに薄情な仕打を怨んでゐるといふ記事を見ると、彼は、ひどく心を動かせられた。

それが、たより少い。外國人の身の上であつたから、一層さう感じたのであるかも知れないしかし、工場にせよ、また、會社にせよ、十年、二十年と勤めて、その勤め先のために、つくし、この世界に生れながら、その半生を働いたにか・はらず、一通の郵便で、明日からの出勤を斷るのは、言ふに忍びない冷酷な仕打ちだが、しかし決してその例が少くないのだ。

彼は、いまそのことに思ひ至つたのである。雇ふ人と――雇はれる人――この兩者の關係はそんなものだらうか？ 果してそれでいゝのだらうか？

「お前を、決して、たゞでは使つてゐなかつた！」と、雇ふ者は言ふのだ。

「お前には、月給をやつてゐた筈だ――お前は、すべての條件を承知してゐた。お前の一月の努力は、その月々にやつた、月給で償はれてゐる筈だ。もうこれからお前が不用になつたからたゞそれをお前に通知したまでだ」

かう、雇ふ人は、言ふにきまつてゐる。成程、考へれば、働く人は、給金がほしいからであつた。それにちがひはない。しかし、生るために、人間が、機械よりも、安く取扱はれなければならぬものだらうか？

まして、五年……十年……十五年……も、金に換算し難い生命を、その工場や、また仕事に捧げたものに對して、勝手に、

二つのストライキ

飯石壽市

目下關西地方にはストライキが十幾つもある。吾々の戰友達は激戰に激戰を重ねて、常に連勝し續けてゐるので意氣昇天の勢ひで奮鬪しつゝある。

この激戰の中に、二つの特筆したいストライキがある。一は同一産業に屬する組合員が他の工場の戰友達と一齊にストライキを決行した事である。それは關西同盟會の傘下にある鮮江聯合會所屬の岡本鑄工所の職工が、解雇手當制定の件について、會社側に要求したが、會社側はそれを强硬に拒絕したため、中村西尾、松本各鑄工所の職工は同一產業の立場から一齊に罷工を開始したのである。

嘗て同情罷工は多くあつた。しかしこの種のストライキは吾國に於いてはこれが最初の様だ。吾々は、同一産業の立場から新に吾々の戰線を擴充するもので同情罷工より更に一層有効であると信ずる。小さい乍らも、或はゼチラルストライキの前提と

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

不用になつたからといつて、猶豫なく、その場を起たせるのは……その行爲が、果して眞理の前に罰せられずにすむ、仕打だらうか？

いまの社會は、それを正當とされてゐるのだ。默認されてゐるのだ。そして、これを不當として、爭ふ者の方が、却つて、惡いとされてゐるのだ。しかし掟はどうあらうと、人間としての、感情はそれを許さない！、良心はそれを許さない！—

Kはみんなが、この間違つた問題に對して、何う思ふだらうかと考へた。

彼は、仕事場へ行つて、仕事をしながらもそのことを思つた。晝間も、そのことを想つた。夜も、また、そのことを思ひつゞけた。

明くる日になつた。

戸口には、新しい、その日の新聞かもう來てゐるのであつた。

Kは、床から出た。そして、顔を洗つた。昨日の如く、煙草を喫しながら、新聞紙を開いて眼をそれに通した。しかし、そこには昨日の記事のつゞきが書いてあるのでなかつた。

それには、全く、別の事が、書いてあるのであつた。

彼は、その新聞をポケットの中に入れて、出かけた。

晝休みの時間に、ポケットから、その新聞を取出して、廣場の草の上に腰を下して、讀んだ。

それには、良人に死に別れた、寡婦が生活難のために、二人の子供といつしよに、鐵道線路に身を投げて、轢死したことが記載されてゐるのであつた。

Kは、新聞を持つてゐる指頭が、顫へるのを覺ゑた。彼は、その貧しかつた家庭の有様を想像した。死の刹那にも、死といふものがどんなものであるかをさへ辨へなかつた、いぢらしい子供の有様を想像した。そしてもし彼等が生きてゐたら、これから先き、もつと愉快な、また悲しい多くの經驗を持つたであらうと思はれた……。

世間の人は、この家庭の有樣について知らない。たとへそれを知つても、何うともしなかつたであらう？なぜなら、他人は他人、自分は、自分であつたからだ。

彼は、すぐ、その記事の上段のところに、昨夜、催されたホテルの舞踏會の寫眞が載つてゐるのを見たのであつた。洋裝をした、男女が、互に體を抱き合ふやうにして、衣組も、きらびやかな室内で踊つてゐるのであつた。その夜の豪華な食卓を想像し、また、宴會が終つてからの彼等の生活などを、想像せずにはゐられなかつたのである。

……それにしては、あまりに、兩者の生活の相違が、甚だしいと言はなければ、ならない。

『これでもいゝのだらうか？、これが、正しい人間社會の生活だといふことができるのだらうか？—

Kは、疑つた。人間に良心がなくなり、憐憫、羞恥、さうした一切の人間的感情が無視されて、なほ、そこに人間社會の生活が存在するとは考へられなかつたからだ』

彼は、遠くの空に上る、煙を見ながら、かゝることが平氣とされてゐる今日の社會生活について、考へずにはゐられなかつたのである。

『この新聞を見た人は、心に、どんなことを思ひ、また、なさなければならぬと悟るだらう』

彼は、かう考へることによつて、社會の不正な事實が、今や太陽の照らす、明るみに晒らされたやうな痛快さを感じた。

しかし、彼が、さう思つたことは、やはり、はかない空望に過ぎないのであつた。やがて、彼は、そのことを知つた。なぜなら、彼が、仕事場から歸る時刻には、もう朝の新聞紙を誰も拾つて讀むやうな者がなかつた。

彼等は、もつと新しい、刺激的なその日の社會の出來事を知らうと、夕刊を奪ひ合つて見るのであつた。

社會の不正な事實を知るのはそれを正さんために、知るのでなかつた。たゞ、それを一種娛樂的に、自己の生活とは、何等の痛痒も感じない、暇潰の材料にしようとするためであつた。

そして、それを報導する新聞は、それによつて邪惡な社會を眞實に善くしようとすることよりは職業的に商品として、それ等を取扱つてゐるにすぎないことを知つた。

でなければ、なぜ人々は、この許すべかざる一つの事實について、もつと突込んで考へないのだらうか？。

Kは、みんなが、廻轉してゐる車の輪にぶら下つて、藻掻きながら、宿命的に、もう一度、自分達の本當の意志から、踏みこさうといふことを知らずに、刻々に犧牲となりつゝある悲慘な光景を、眼に描かずにはゐられなかつた。

—一九二四、三作—

なる種子を植付けるものではなからうか。今一つは日本導火線の女工が第一線に立つて戰鬪しつゝある事だ。しかも在來のストライキにも其の例が無いではないが、續々として婦人が戰線に參加して來る事を、勞働運動の戰線を、未開の方面に開拓して行くものとして、喜ばない譯にはゆかない。

今年の大會で日本勞働總同盟本部内に婦人部設置の件は大會の席上に於て準備を要するため一ケ年保留と云ふ事になつたが、關西に於いては既に着々と實際化して居る。

昨年四月一日關西同盟會の大會で婦人部を設置する事が可決されて以來滿一ケ年、その間、三國紡績のストライキを始めとし松岡紡績、岸和田紡績の大ストライキ、と今度の日本導火線で第四回目のストライキである。

また吾國には產業別組合、及女工組合の發達を見ざる今日、關西に於いては着々として事實の上に現れつゝある。

この種の傾向が全國各地に續々と現はれて來る事を期待して止まない。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯室より

▼二月號が二月十五日に發送する迄こぎ付けて、二十二日に發賣禁止を喰され、そのうめ合せに三月號を大車輪で拵い上げた。二週間に二回の編輯と云ふので、素人の私等には非常に難事であつた。

▼でも、三月號は甚だしく、賣れ行きがよかつたので、八千部を發刷したのが三月八日までに、一部も殘りがない盛況であつた。四月號からは、いよ／＼一萬部を出すつもりである。

▼私等は多忙で、あまり自分の作る雜誌の形式や編輯ぶりなどを考へてゐることが出來ないから、讀者諸兄からの、親切の批評を待つて、反省したいのです決して遠慮なくどし／＼こきおとしてもらいたいものだ。

▼外國ものばかり載せて、などゝ云ふ人が仲々あるが、まことに日本の事實及傾向を吟味することは第一位に留意しなければならない、がさりとて勞働運動並に社會運動の進歩した、歐米の經驗を取り彼等の失敗を學ぶことは、なおざりにすることが出來ない。殊に近頃の樣に總ての運動が世界的になつて來たに於いてをやある。この立場から、私等は、つとめて、海外の運動を讀者に提供するから、よくそれを研究して、吾等の運動の參考に用いられたい。「日本は日本人の日本であるから、總ての運動を味噌くさくしなければならない」と云ふのは赤化防止團の傀儡であることを記憶せよ。

▼「進め」誌が、あまりに高級になることを怖れてゐる同人もあるが、私等とて、それには相當注意を拂つてゐる。でも吾等の「進め」は決して研究雜誌でなくて、戰鬪雜誌であるから、理論や、理窟はあまりのせたくない。事實の批判と、具体的の記事を第一に置き、次に同志先輩の寄稿の最も優つてゐるものをのせることにする。で今後は社會講談やプルレタリア的の創作を毎號のせる。それと同時に、平易なる經濟的批判をのせるつもりである。それは現資本主義制度に對する充分に理解を得るためにも、將來の吾等の闘士を養成する上にも是非なくてはならないものであるからだ。それは吾が高橋龜吉君が毎月多忙のところを、無理にでも執筆してくれることに約された。

▼三月八日の國際婦人デーに進め社が主催で開いた、演説會も、同士諸君及び關西の勞働運動の闘士諸君の御援助のもとに、豫期以上の大成功であつた。こゝにあらためて、御援助をしてくださつた諸君に對して謹んで御禮いたします。（三月二十日田口運藏）

▼地震後一時沈滞してゐた吾々の言論界もこの四月には「政治運動」が出る。五月には「民聲」が發行される。「マルクス研究」「種蒔く人」等も復活する相だ。吾々の陣營も大に活氣を呈して來ると共にこの勢で反動制も案外容易に突破したいものだ。

▼過激法案が又出るらしいが、こんなものは たまりもなく叩きツブして仕まいたい。これについても痛切に感ぜられるのは政黨の必要だ。

▼進め社も同志先輩諸君の御援助で、漸く陣容が整ひ相だ。三月號で豫告したパンフレットも出來た。演説會も出來る限り開く。益々御指導を乞ふ。

▼進め第二回演説會は、廿五日神戸青年會館で、嶽神の闘士諸兄の御援助によつて開催する。この點厚く御禮申します。

▼第三回演説會は四月一日府下泉南郡佐野濱で、同地の同志諸兄の御盡力によつて開催する筈である。

▼尚進め社は四月に名古屋支局の主催で演説會を開催する豫定である。同地の同志諸兄の御援助を願ふ。

▼非常に殘念なのは、熊本の支局から三月二十四日に説演會を開くから來いとの事であつたが、前記の樣な仕末で遂ひ行く事が出來なかつた。

▼進め社同人は編輯になれない者ばかりで、そのため御寄稿願つた原稿を勝手に短縮する樣な羽目を演じて誠に申し譯けありませんでしたが、今後はこんな事があつても再びそれを繰返さぬ方針ですからこの点御了解下さい。

▼尚讀者諸君、同志先輩諸兄から種々編輯上お氣附の點を指示して下さつて、吾々同人として大に得る所あつた事を感謝します。今後も大にお氣附の点及び進め評と云つた樣なものをどし／＼して下されたい。

▼地方の讀者諸君に、幸ひ近郷に進め支局のある場合は、御遠慮なく遊び旁々座談にでも行つて下さい。喜んでお迎へする筈です。

▼メーデーが近づいた（三月二十四日神道久三）

會計係より

「進め」の數ある特徴の一つとして定價の安いと云ふ事は定評のある事だ。然るにこの「安い」と云ふ事を逆用して「一部たつた十錢位だから一冊や二冊はどうでもよいんだらう」と云ふやうなわけで「進め」は常にたゞで買へるやうに思はれては困る。本社の同人は身も骨も削れるやうな思ひをして努力し雜誌を安く出してゐるのだ。本社ではそんな妙なことを云ふ人に對して「たつた十錢位の金たも拂つてくれてもいいぢあないか」と云ひかへしてやる。

尚毎度乍ら會計係の希望條項として左の通りのことは斷つて置く。

一、誌代に關する問合せ、雜誌注文に際して必ず宛書に會計係と附する事。

二、會計用は一切個人宛にせぬ事

三、本誌は集金郵便を一切取扱はぬ事を承知して貰ひたい。

四、「進め」誌代と他雜誌の誌代とを一諸に送り他社に殘金は送つてくれと云ふやうな注文は一切取扱はぬ事。

五、住所氏名は明瞭に書く事。

六、見本注文の方には一部は注文に應ずる。

七、誌代拂込は可成振替にして振替の都合惡き時は五厘及一錢五厘の切手を用ひ振替の裏には用件を明記する事。

▲支局通信は事務の都合上支局名を明記下さい

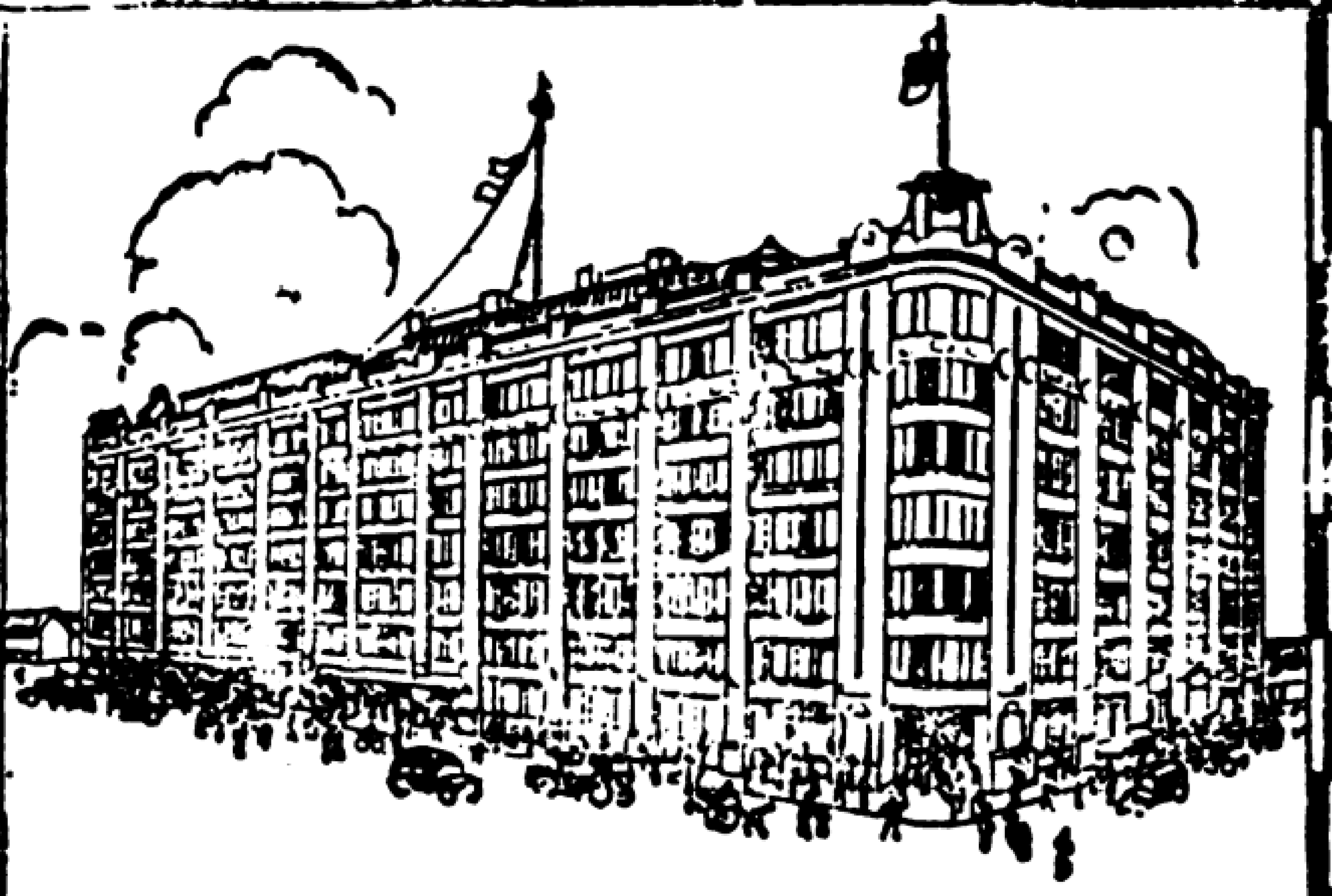
◆社會主義
◆社會問題
◆勞働問題
◆婦人問題

圖書雜誌
販賣

本店 神戸市湊川町二丁目十六番地
上西書店
支店 神戸市湊川公園前百貨店前廿一號
上西一郎

▼目録が入用の方は二錢送附を乞ふ▲

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



三つの優越點と
三つの誇りと

三越の商品は、品質の優良さ、量の正確さ、そして値段の低廉さといふ三つのいつも異らぬ優越した點を持つてをりますのみならず、常に斬新さ、實用さ、趣味の三つの特長を誇りと致してをります。何卒十分御吟味の上多少に拘らず御用命の程偏に希上げます。

◇地方よりの御註文は御手紙にて「通信販賣部」宛に願ひます。叮嚀迅速に御調達申上げます。

大阪

三越呉服店

歐米時計類
眼鏡双眼鏡
測量器械
プラチナ地金
精工舍時計
ダイヤモンド
紀念盃徽章
寶石指環類
各種裝身具

服部時計店

東京銀座二丁目

金、銀
白、金

徳力本店

東京市神田區松田町

産前産後
血の道
引風、冷込
等に特効有
▼全國到處に販賣す

婦人良薬 **喜谷實母散**

本舗
東京市京橋區中橋大鋸町
喜谷市郎右衛門

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

The su-su-me. A socialist's manthly.
Responsible Editor Unzo Taguchi. Propreitor K.Fukuda.
Head office Taikai-cho Nishinoda Osaka

山川均著

井の底より見た日本

四六版バビリンコーテリア美本
定價貳圓七拾錢 送料拾八錢

忽三版

共産黨事件の餘波で有罪の宣告を受けた著者は、垂水の海岸に病魔と官憲の迫の受難の内に良く隠忍自重して遂にものせるは本書だ。收むる所十數篇の論文は日本果して赤化するか、いな、白化するかの疑問に答へんが爲に資本主義崩壞の氣運を政界に觀經濟界に觀、外交界に觀、延ひては勞働爭議に勞働組合に觀望して以て國難を論じやがて日本の行くべき途を井の底より叫び續けて居るのが本書だ。この叫びこそ井の底より地上へ、地上より大氣にと世界を蔽ふべき正義の聲だ。

プレハノフ著
法學士河野密譯
定價金壹圓五拾錢 送料拾八錢

再版出來

社會主義及無政府主義論

共産黨宣言の飜譯を許されぬ我邦ではマルクス派の驍將たるプレハノフの著述は社會主義唯一の寶典である。殊に本書は社會主義及無政府主義の依つて立つ理論並に政策の檢討であり敍述であり哲學的研究である事に獨異の價値を有する。

發行所
京都市平野大峽町一番地
振替大阪六九〇八三番
更生閣 吉田書店

▼注文の際必ず進めて見し旨を傳へられたし▲

月刊
政治運動
四月創刊 (一部十錢)
東京市外高田町一三一 政治運動社
振替東京六六六一五番
布施辰治、淺沼稻次郎、稻村隆一、黑田壽男、三輪一男、三宅正一、平野力三

月刊
農民運動
(一部十錢)
東京府下日暮里三三九一 農民運動社
同人 稻村隆一、佐崎源吉、平野學、浦田武雄

半月刊
勞働者新聞
(一部五錢)
大阪市北區西野田江成町 勞働者新聞社
日本勞働總同盟關西同盟會機關紙

月刊
青年運動
(一部拾錢)
建設者同盟同人編輯
東京市外池袋九三〇 青年運動者
振替東京六〇六〇七

月刊
「選民」
(一部五錢)
事務所 大阪市南區西濱北通三丁目 選民社
全國水平社青年同盟機關紙

月刊
潮流
(一部十錢)
大阪市外南海沿線羽衣 潮流社
振替大阪七〇〇八五番
同人 藤田洋二、藤岡淳吉、岩崎儒

大正十三年三月二十九日印刷納本 ●毎月一回 ●定價一部十錢(稅五厘) 發行所 大阪市北區西野田大開町一ノ九二一(振替大阪六九〇七二)進め社
大正十三年四月一日發行 ●毎月一回發行 ●定價 半年六十錢 一年一圓(稅共) 發行兼編輯印刷人

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN